日本の態度を協議

今明日中の閣議に於て

別級過を職取し政府の歴度を協議性は復習メリー

路が譲歩する近

現狀の儘だらう

中央と奉天の關係は密接

木紹陽氏北京で語る

赤衛軍に古

国境を挟んで兩軍の影響相常長期に政るべく四国職事を馳せ偵察してゐるが、其後變化なくめ一是軍即線に在つた際殿軍は二、三日衆職人後退しつゝあるも

面の露支財軍は多の準備を急ぎ大

電話復舊市間

露の威嚇砲撃から

東鐵支那幹部硬化

當分露の態度を觀察

長期に亘り

露軍は二三日以來續

令籠りの準備

は、之が物珍しき旅大人士に無理

送に変る」ことなり、之は解来完 を記念が開かれた以上は、其続 い完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥め容瓷が配 で完全とは天候等の鳥が容器が配

政治的犯罪は

徹底的に檢學す

とも等い、もう少し一般 をさせる解析がないなら をさせる解析がないなら

十四日本欄五段六行「是か

十日ニューヨーク造船會社長チャ 軍縮小反跳電視事件に関し來る二 責任者審問軍縮反對宣傳 院特別委員會本日發表に依れば海

ペスレヘム活船會耐能は長エス、

満鐵製鋼所記

利計算によ 尚理事主 と 欧立計畫は 曾を設置に決定 立直す 五減)外國人五九一(同一三滅)三○八增)朝鮮人一○四八(同一三滅)

根本の基礎から (城石總裁の衆連が餘壁服るれが、其結果に從つて大平)は終

医謀を警戒

り備兵を百名に増員

萬五千九百五十八人の激増である。

大連管內人口

太田關東長官 張學良氏を訪問

月の課習を受けて一人前の警官と休憩し埠頭ビルを見襲したが三ヶ休憩し埠頭ビルを見襲したが三ヶ

して世に出るわけである。

濱口首相編京

たる後鎌倉に鬱薬した護口首相はたる後鎌倉に鬱薬した護口首相は

更选事情

ム首相の演説

委員長は大平副總

日米の補助艦比率

日本の態度は最も

央海軍専門家の觀測

晝間中學を閉鎖

大日教」張成化

まり後に於て喚問を見る管 まり後に於て喚問を見る管

定員の約二十倍

次城、宮城、福島

大學出が七名も應募 藤井警部ける引率來連す

の概要は快方に赴き殆ど全快した一本任の時期は來月中旬になららと喩文書歌長の獣に依れば他石總裁。も多分今月末減影する運びになり、一本任の時期は來月中旬にならうという。 山崎文書課長歸任談

巡査の應募者が

家官練習生

力針に準據し 事業は繰延

鐵の明年度豫算編成方針

大平副總裁の意見 を対度してやるんだから、勿論れば別だが……

日本調集のため職居して居るが規 黒田善治氏へとは昨年入月二十一 黒田書治氏へとは昨年入月二十一

10 1 マーマー四日愛電」突如として で数で、大臣六つの神子を大音に憩っ で数で、大臣六つの神子を大音に憩っ で数って起立して居る中に相望ら を執って起立して居る中に相望ら を執って起立して居る中に相望ら を執って起立して居る中に相望ら を執って起立して居る中に相望ら を執って起立して居る中に相望ら

紀粛正を目的に でも借りて來ぬと、間は會ない。 はぬことになりはせぬか。 での冬雪地間、左もありなん。 楽さも基だしい。長期動物を期-▲伊藤宗男氏(日本製綿會社員) ▲平井政一氏(日立製作所員) が問題は世界的、大西洋 期に動くは敵の多仕度。 氏へ議議文書課長)同 五 (全品國軍運輸場可 飛ぶ様に賣れる キッコーマン

緊縮風を吹き飛ばす好景氣

新築中の主なもの

不景無や緊縮方針を吹つ

屋に向ひ合つて山田三平氏の工費の工費五萬圓四階建五百坪の煉瓦は店舗及病院となる支那人職英氏は店舗を開発した。 東ホテルは昨今底に殆んで管理

自分の家が

容してゆかねばならぬ大連である。いづれは百萬の人口を使いである。いづれは百萬の人口を使いたりかはつてみる。滿である。いづれは百萬の人口を使いた。 北平の人類を一人で背負ってたつれての根準部が品が発をひきつれて中日文化版館の招聘によりば連十中日文化版館の招聘によりば連十中日文化版館の招聘によりば連十中日文化版館が品が発表をひきつれて中日文化版館が品が発表をひきつれて中日文化版館が品が発表をひきつれて中日文化版館が品が発表をひきつれて中日文化版を対象をしまった。

巾をきかす時代

滿洲を故郷とする氣分から

草原から住宅地へ

物節コンクリート棟瓦建のビルデに監ぐの一般も既に収掘された際にに対していまれた。

哈爾賓郊外に

松花江

救橋を襲ふて大騒ぎ

團横行

家として、既に満洲を故郷とする かんにこしらへる。快適な自分の ・快適な自分の

行しハルビン特徴十六日酸」震支 りの雨を冒 露支 紛糾で益々猖獗

に現在三四百の家が難造されて

踊の藤間氏招聘から

、連女紅場揉める

秋の溫習會を控へ理事者側こ

派と睨合ふ

放送の筈 放送の筈 放送の筈

る世界のた の爲運齎し午前十時帯外に齎いた十六日入港はるびん丸は途中風浪 けふの入港**船** 昨夜萬歳街に ピストル强盗

小銭と金指環を强奪し

野球中繼放送 年職十二、三才位の色黒の支那人が現れ架一個を買求め小洋二十線を出したので王が紡銭を取りに行くと促いて来た性の支那人は突然を出して異れ」と響しつけ「御主入海みませんが金を指輪をもぎ取り更に懈にあつた本のでそれと知るや賊は所に転けつけ、のでそれと知るや賊は所に転けつけ、破壊すべく命じたので王は悪であった。 主人の機轉で逃げ出す

内一糖に取って非常歌歌を行った、内一糖に取って非常歌歌を行った

姉の遺骨を

抱いて女に溺る

老父から保

したので寅夫は滞在し

を今回数名を倒みた

會は六千

吊勝軍早大敗れ

覇権は明大軍へ

▲八百米自由型 一善武村(明) 一一分一秒四(大會新配數)二 (明) 一分一七秒、四音五十四(明) 一分一七秒、四音五十四(明) 一分一七秒、四音五十

全國學生水上競技会

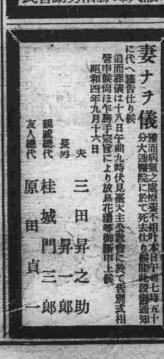
アールに関かれ 第二日は 十五日午 東大回全國學

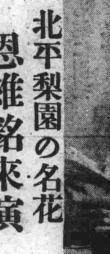
型 部高等小野校は強て観察中であったが終々落成したので半四日駅 ・ 大学中なりし生徒の尾

AIII 1 118

早苗校落成す 教候間辱知各位に離告申はず本日午前五時十分死の處療靈相

中古自動車格安多數二七年シボレー二臺二八年シボレー二臺二八年シボレー四臺二八年シボレー四臺二八年シボレー四臺二八年シボレー四臺二八年シボレー四臺





一々協和會館で開演

特派機歸る

第二部 専門療校程度以上及び一第一部 中等學校のみ 場所、敷島廣場大連基督教育 班Y、M、C、A(主將會 此月十八日午後四時半

大連市外海猫电筒的 大連市外海猫电筒的 大連市外海猫电筒的 大連市外海猫电筒的 大連市外海猫电筒的 大道中型 大道中型 大管十四日同地源型 大管十四日同地源型 大管十四日同地源型 大管十四日同地源型 大管十四日同地源型 大道大型 一五九肥公司 芸力社 大管十四日同地源型 一五九肥公司 一五九加公司 一五九加公 一五九一 一五九加公 一五九加公 一五九加公 一五九加公 一五九加公 一五九加公 一五九加公 一五九一 一五九加公 一五 苦力頭の喧嘩 誘き出し毆る

とキッケ 派年離病で他薬 もの責任業有郷祭福申込あれ教ゆ 和歌山市薬劑師 富吉繁作 にんしん按腹

額様と繪畵なら 新 一 黒丹神代杉製短冊掛 一 二 科展覧會エハガキ たったが作用小賣的 常盤號額 後店



特殊節が適つたので最近小崎十島 所な、平日は六、七十頭位であるがこの一関日は假に殖え十五日は でに既に三百七十九頭と言ふ磯増 でに既に三百七十九頭と言ふ磯増

Y、M、C、A屋外コートに於て 開始される事となつた、優勝チー 朝殿院職等を援興される事となつ 十二日午前八時三十分より大殿場補バスケットボールナ會は來る二 育研究所主催本社後援の第五回全大連キリスト教育年會及隣東廳體 一心人でないかと見られてゐる 虎疫酸生

華 「京城特職十六日酸」に加にコレー 「京城特職十六日酸」 大りは十五日、本村よりは十六日 | 版人を製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣したが十七日は | と製十名の看護婦を派遣して流射 防疫に狂奔

大日本忠受義會

ノテラ

鮮人續々催病

來る二十二日に舉行

仲秋節で豚の需用激増

けふ午前十一時に約四百頭

全滿籃球大會

貳拾五圓

準備車輛 | 一頓積の各種 | 一頓半積 念割引 九月二十日まで **獵具附屬品**

電話三八六九番

輪貨物 9

大連市吉野町二〇 割五分引

家屯附近

五、生産の非節を買るこ

ド公筆其他の諮問に應ずるこ

のものを規定して油工原織の をはかり、又會員間の油工 のものを規定して油工所銀

油工統一と生産調節

曾員の紛議調停

原料大豆の生産調査を行って、翌、大正十二年度後の米豆砂等問題のの事實である。

「原料及び製品の需要供給の状
にあったものがあれば火災損害を調査を組織して、南北浦洲全艦に取りた。の迅速なる解決に魅力してゐる。又油房の食品を組織して、南北浦洲全艦に取りた。の遺迹なる解決に魅力してゐる。又油房の食品を担保して、南北浦洲全艦に取りた。の遺迹なる解決に魅力してゐる。又油房の食品を行って、翌、大正十二年度後の米豆砂等問題のなる。以前房間を開発した。

今・離低者には前低者の見る所あり、後低者には前低者の見る所あり、人が遠へは見解者見る所あり、人が遠へは見解者の見る所をは難し常然な話。 は蓋し常然な話。 は蓋し常然な話。 と云ふやうな脈がないとは避れぬ、 と云ふやうな脈がないとは避れぬ。

原料及製品の需給狀態調査等の事

大連油房聯合會

六、原料及び製品・の需要供給の状 ・ を組織して、南北端別全監測を を組織して、南北端別全監測を を組織して、南北端別全監測を を組織して、南北端別全監に重り してある。又近来豆油、豆粕が南 して破響をしく増加した ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に脈査量を ので本年野は此方面に ので本年野は此方面に ので本年野は此方面に ので本年野は此方面に ので本年野は此方面に ので本年野は此方面に ので本年野は ので本年野は のでまるとに

まし油坊の損害の 関語の 関語の

○定期取引(單位錢)

「本海」 (東京 大) (東京

◆…だからこれを然う無理ゼガれが遭つても探察出來な方法。 動致しやうと云ふのは合理的 ある。

禁のキの字程も響かんでし

送炭五分減に就て

撫順炭は除外例を求めん

満鐵、回答を留保して考慮中

神秋節 された。 ・のからず来るナム ・のからず来るナム

のウフ、夫りやあの時は膝でものウフ、夫りやあの時は膝でもし、顔で所述がそれといい。 のカースと、景氣はよし、鮮緩 のウフ、夫りやあの時は膝でも

不景氣深刻

銀崩落金昻騰

鈔票六圓臺割れ

飛行機で歸連の石田氏語る 産業界を顧慮せぬ遣方は不可 六日から二十

日。成曜――。 一日。成曜――。 中の職入品で最近の監替變動。 時の輸入品で最近の監替變動。 中の輸入品で最近の監替變動。

云な脚出物もあるだらうが、とう知らなかつたものだの解禁近に知らなかつたものだの解禁近に

中の場と抜け目はありませんな。

解禁: は憂遠すべきで眞に影響を勝くして解禁しやうとするならば属々たる面目論の如きは放棄し一時平價を引下げても我放棄し一時平價を引下げても我はでれる面目論の如きは、

商賣人らしい

甲と乙の對話

たい満洲の景氣は何うなる?日

解

禁

漫

談

人一言

一番早く一般の頭に叩き込として米穀取引所の石建を りよの建として相場を出ー りには總でキャグラムを値 がな浦々まで行き砂る事が

特市

况

雜穀解禁を請願

・ 先刻『銀行がサッパリ金を貸ったが帰言だな、金を借りたが帰言だな、金を借りたが帰言だな、金を借り

日午前十一時中から總商會に會合の時は選業を修止せねばならぬ、機型禁止で打撃をうけた支那機器・禁を講座することに決職した世級製粉美者開発店の各態酸は十五一般の製粉製者は解養の見込み立場を講座することに決職した世 内地經濟界は

支那製粉業者等より

吉林、哈爾賓兩當局に對し

話はない」と一應否定しつう左の店長榮職説に就いて「未だソンな

各地商議の

更に三商議から

京称、弘前、神戸、小龍の各商工中の報したが更に他豪商歌二十一名は野地の発育が来連することは野地の各商工十一名は

大連米数同業組合会表の十五日現大連米数同業組合会表の十五日現で前回に比し郷鮮米は二、三十銭の各議費を示した減州米は二十銭の各議費を示した減州米は二十銭の番場がに直面し原以は野報の通り帰境期に直面し原以は野報の通り帰境期に直面した。 をである(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四 をである)(単位一以四

神経・ | 特等 | 以 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1:17.80 3:0 | 1

昭和三年の四十七弗二分の一以來

四百十三兩大と發館し四百十七兩一 一遊職進し、大正十五年十月の四 だ、地場野栗も標金高に深ひ窓に 八十六圓 際を購入十五圓七十鏡と

株式の湖取引は山田へ 田商店裝部

启#

池電乾日朝 る判で目一立後年十四百

店 理 代 所張出池電乾日朝 町島ノ江 天奉 所務工機電川橫 町山龍市並大

用信通 用火燈 用オテラ

安高引高

神戶豆物 1 10CD 10CD

削門專経流

ーダンレカタネグマ 附添に池電"B"

貴藥サフランを倍加特製せる 無代添附す

適の世界は常 階し適度



あがれ頭 ハッキリ 智慧も出る 洋 一大條件を具備す 室服 内家 0

工學士横

液速

M

國

RR

貴金屬製作

大村洋

行

#造-計算-監管 **示像建築事務所工事**出宗像主一建築-設計-監督 **示像建築事務所工事**出宗像主一

思思案するより

6

.

川上獺生 助演

積極的節約なり 優良、安價心の製品は 844 電話 66 **VID**

拾七日より特別公開

十六日上。精制

選拔野球大會

一盤 性 女 新一 念記朝嘉男光浦三·督蠡助之平所丘 子雪波筑·技静田龍·代韻 中田 夫秀野藤·光 內山·郎一城結

小川隆入社第一回作品

一盤 性作 作念記朝嘉男光浦

特專 安くて良い品は 許賣 寒防

に内のミカキ 19/61 国の 53 9

一番よいに

威の

昭和四年式新型センターを此機

會に於て是非お買上を願ひます

烈似品の多い今年の暖爐界は動からす花客を迷はしてあます

どうぞアレ、コレビお迷なく改良に改良を加

察官、新

聞

記

0

店

は

公

平

を

期 並

す

3

爲 上

B

頭警

に於て行

價定

一 拾九圓五拾錢より

好評

鄧

足體六十餘人送料四三六川美本百八十

徐宗澤氏著明代女那四洋學術紹介の

松木俠氏著商

上杉紅喜氏著仲士(積

發行所

化

士 十 十 十 十 十 数数 数数 数数 数数

蘆

二記念大景品付破天荒の大賣出心

景品

11

七

>

3

1

ス

h

7

抽 壹

御買

上

げ

10

對し

壹

枚

0

を差

.t.

V

ま

す

一、 商號 改稱記念 三、開業廿五周年記念 念、《本年五月大阪行幸の砌り天魔の光榮に浴す》 (元愃六本店) 大連伊勢町 製造發賣元 大阪 山本最商店 久保洋行

參等 四等 五等 壹百圓 五拾圓 四百圓 **頂**拾圓 塗料 (壹個二十錢) 參拾圓 圓 同 同 同 同 債 劵 1

昭和五年二月末日迄 Ħ. 廿五本 二十本 壹 三十本 十二本 臺 本 約 店

【饲不序順)

陰嗣賓道裡地盤街

賣出期間

抽籤期日

同

年三月十日

版順市乃木町

肇永公明大安樺日高鈴權久野大大石岳か小須緒佐山津杉大田德德德福石 新和與記塚阪 光柳木太洋洋保田連久山南ぎ川藤方 城田元德中 義田田 繁公金相支商 洋商洋商文品支洋商公商次衞商 商商商本商 洋物洋 司司行館店店清行店行店店店店行會司店即門店 組店店店店店號號行店行

四六四六三九二八八十二四六八八十二四十七八十二四十五 三七〇四五 三四回支出一二回三一二五 九三八五六 四四三七 五五四〇 一三七八〇七八七九八一 六六八一

元

賣阪

大連市里德街三丁目 大連市里原門八九 大連市里原門八九

大連市信濃町市場前

大連市築町一五

頭痛を覺をて 御清掃 更に、 によって、更に さわやかなり! ン協信の を知 . 15 知つて 頭痛 店商林小 融資式株 鋪本 を忘 嚴古名·仮大·京夏 3 00000000000000

中

阪屋號

(手切品商) 店商村西 番五三九四號 地番二〇一通西 五三六四電號九廿場市町漁信



三七八話電 | 大学 | 著理代名を | 変質 | サー **查課著**滿 二郎著歌はからして作

さし

でめ米支 て米園との秘密支影は来年一月よいて秘密との観楽ら傳へられてゐる。 加した

との観察ら保へられてゐる。而したるものである

ものであるといってゐる。
「全人」としてゐる

兩日中に發布

裁判令

訴訟が簡便になる

摩出發鮮満に向つた 場別のでは、本間御附武官は下檢分のため十五日夜東京見學に赴くが、目下同校御在學中の秩父宮殿下も一行と御同行《東京十六日發電》陸軍大學二學年の學生は明年五月滿鮮地方 下檢分に東京出發

のは宣傳が大分で相常関なる地方軍滅が共産黨匯が大分で相常関

改善建白書

常設委員會を設置

暗雲に閉ざれた

上海の邦品市場

排日貨漸く具體化

る守御職を機勝後守御職際内を脱一等の司令官は下車、職前に魅力せ、「職軍司令官はその艦通過。

の野砲兵

を開き安塗、松田、機、

教育弗

費負擔增額

決業

民政黨午餐

は、小泉谷相 く決定を保護する事となった

「東京十六日夢電」我が園は古来
「東京十六日夢電」を設ったる常野姿闘館を置くに
「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日子後二時海軍を代表して貴」と申出でたので、を副の政府には「東京十六日子後二時海軍を代表して貴」と申出でたので、を副の政府には「東京十六日子後二時海軍を代表して貴」と申出でたので、を副の政府には「東京十六日子後二時海軍を代表して貴」と
「大方日午後二時海軍を代表して貴」と
「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日夢電」を近司中將は「東京十六日一巻二時海軍を代表して貴」と
「大方日午後二時海軍を代表して貴」と
「東京十六日夢電」を近日中将は「東京・大地方の「東京・大地方」」「東京・大地方の「東京・大地方の「東京・大地方の「東京・大地方」」「東京・大地方の「東京・大地方」」「東京・大地方の「東京・大地方」」「東京・大山市」」「東京・大地方」」「東京・大地方」」「東京・大地方」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・東市」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「東京・大山市」「

に達した最近の排日情況は左の如 に達した最近の排日情況は一大大日 で、一大大日 で、一大大日

綱紀紊亂の事實あらば 満鮮視察旅行の出發に先達ち

拓相聲明書を發表す

反蔣運動の

電日は國旗を機響すべしを融合 東京十六日設電』 内閣は十六 日帝官職に難し十月二日の伊勢 戦官職関五日の歴受大戦官職領 戦官職の五日の歴受大戦官職領

神宮遷御當日

十月末に結黨式

政友會の態度米穀調査委員会

なは職職式性千月末東京に開くと

廿三、四日頃迄に決定か

皿域的法權撤廢を 文が秘密交渉 兩國の通告回答は妥協の上作成 王正廷氏との間に進められたが、 未だ圓滿なる解決を見るに至らず 双方共に九月より更に交渉を進め る事にし打切られて居つたが、既 下南下離備中であるから近く交渉 が再開される筈である 談交渉の解決不可能の監は前回 の會議に於て英國公使の意見は 南支方面で頻に宣傳 率天十六日發電』率天教育廳で 選制訓令 本天教育廳で 勞農智識階級の 威海衛還附交涉 近~再開を見ん 反革命陰謀暴露 **難關は管理權の歸趨**

は十六日午前十時上野自開會「養務教育委園庫員」 解を期す」との決議を可額を期す」との決議を可 でより膨くも三千萬圓 が登べ代表者は直に微口 政友茶話

東京十六日委電 茶語會は十六日午後三時 名出離し矢野電太氏を揺 名出離し矢野電太氏を揺 を聴取したが氏は一 東各相「〈決定を保閣する事をなった 東各相「〈決定を保閣する事をなった 東京十六日 一大會 一大是 一大。 一大會 一大 一大會

御養縣につき天棚並に御 等に關し氏の持論、吐露 等に關し氏の持論、吐露 等に關し氏の持論、吐露 等に關し氏の持論、吐露 で質口首相天機会 所見、一個人 一、解禁の及ぼす影響

北端ロシア商人北端ロシア商人

を保つてゐる、去る九日頃を保つてゐる、去る九日頃を保つてゐる、去る九日頃を保つてゐる、去る九日頃を保つてゐる、去る九日頃を見たが其後は何等問題の惹起を見たが其後は何等問題の惹起を見たが其後は何等問題の惹起を見たが其後は何等問題の惹起を見たが其後は何等問題の惹起を来さず平和を維持してゐる、然し露支兩國の粉優以来商人の動搖を来さず平和を維持してゐる。

▲吉川磯章氏(電通大連支配長) 同上 ■早川専一氏(電通率天支局長) 同上 ●能島進氏(日本電報通信祉常 務収締役)十六日二十時列車 で陸路京城へ

◆美川多三郎氏 商店經營指導のため沿線旅行中の處十八日 本建の管 本建の管 本建の管 本建の管 本建の管

学 公公の 計画は 全野洋

大連市参事會流會

於て應業組合理事會が開催された十六日午後一時より民政署樓上に

漁業組合理事會

(新个) 【東京十六日 碑堂】 関東龐遮信副事務官 河野 秀雄

中 現在の野菜罐質買が多くは生産 ・ 選系に生産資金を供給してある間 め 者に生産資金を供給してある間 を しては大消費者が多数を加ましては大消費者が多数を加まるとの が市場改善上費するとの非難に鑑みた で で 方の名義を襲更せしむることにな で 方の名義を襲更せしむることにな で 方の名義を襲更せしむることにな で 方の名義を襲更せしむることにな で 方の名義を実現の の だが之もが感要名義を一方だけ を つたが之もが感要名義を一方だけ

之を職挙別にすると大體次の如く

起も大多性、やつとお茶をありちやと、お蔭でマネギャー

もう切りました らないでもよいです らないでもよいです

留 14貴方速くお乗りなさい、御遠慮

処で結構です私は切得を買ひ

第二囘太平洋

朝鮮博覽會畫報—(館、滿蒙多考館)

會議の思ひ出

る。之を各蹶長に就いて見るも種代表者が強られたと云ふ事が出來代表者が強られたと云ふ事が出來

歌領袖三人、法律家一人、

代表たり、目下全支那に管で華府曾識に際し

太平洋問題調査會幹事武田胤雄

でもあれで議別に戦する好奇心が大端に話す文けでも有益がやない子弟に話す文けでも有益がやないつくでせらよ、君なら僕よりもつくでせらよ、君なら僕よりもつと聴い、野祭をして聞れると思ふって僕の仕事の様ともらへて好都合だ、特殊の

頭いたらう。君が満洲を観察してでもあれで満洲に難する好奇心がでもあれて満洲に難する好奇心が

かも内心は

會議始まる

員を加へて約二百名、之を

九名、之に家族その

、書きなぐつた爲め充分意味、 僕の通信に君も動かされた。 大き事をないたれ、是非來てくれ

供の變みに賣出してもよいと思ふやらればならぬからだ。或は地鶏や使つて雛を孵化して子のない地のでは地鶏

今では桃粉さへ買へなくて掘ってからだ。然るに元々無一物の僕は

大工道具も鉱力道具もの五百圓ちと多過ぎる

飛側の運動してゐたところのゼネが、その以後の情報によれば、安が、その以後の情報によれば、安か、その以後の情報によれば、安か、その以後の情報によれば、安か、

それは兎もかくとして、

國民政府の公

の運動は、世界史上、未だ曾で如き平和に對する英國等働黨政力を決意した。かく如き平和に對する英國等働黨政力を決意した。かく

愚温家の地より

田國の友へ送る書

田八十楠

大團圓を夢みて 第十五信

君も御宅の皆様も御達者で何より「ちらっし誇む」を取りたいと思つて君からの御手紙を有難く拜見した「爲めに御意見を承りたいと思つて く暑くなく、天晴れ類潜み塵埃が かっと と出來れば九月に來てくれ給へ、 門出 におりたららけれ を能

内地等では味は

博

會

便 IJ

一かの御殿は忘れん、成功すれば必

仕満内鮮人に

朝博利用を望む

『京城』朝鮮博覧會製祭部長總 で新述を通じて在補内鮮人の朝博に寄せた好点を選じて在補内鮮人の朝博に寄せた好点を謝し併せて今後 の希望を傳へるべく十三日記者 に對して左のく語つた 明野博覧會開催に當り私共事務に 観ばつて居る者は郷養総監閣下を 地じめ官民有志の 今村殖産局長語る

考へます、この機會に於て

するクサビでありわれく日地に在る 樹者をし つかりと

に、特に今回の朝鮮匈電館

御懇篤なる御波機御指導

支那語會話

大連自動車練習所電二一三四五 大連自動車練習所電二一三四五

たよくと共に、開発途上にある朝 ものでありまずが、特に在補織の の世別と人とを知つていたよきたいことを引選に接へません、親く朝鮮とした外間で、大力本博覧館によって朝鮮のでスリゴタとを別選に接へません、親く朝鮮、売し棚でも選問をした大力工に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名はの風物と入土に膨脹されて得られ他の五名は の下に大過なきを得ましたことを 最も就性とする実際であります、 特に日本全土を挙げて疑へられた 特に日本全土を挙げて疑へられた 外はありません、本博覧會は形式 外はありません、本博覧會は形式 は本府主催でありますが實質に於 は本府主催でありますが實質に於 は本府主催でありますが質質に於 者及団符領上総額は左の如くでる間場二日目(十三日)の朝博入場 二日日入場者

でも選早く五件を發見された。 でも選早く五件を發見された。

等本丈太郎 電話四六九二番 ・ 会本丈太郎 電話四六九二番 ・ 会本丈太郎 電話四六九二番

鈴木丈太郎 電話四

電話四六九二番

五球 ニュトロンダイン 新聞品付百五週より百五十週迄 部分品は格安實用品 が発表品品 物修理 おり の 五 間 とり の 五 に の こ に の 五 に の こ に

製速町五丁目二百一番家のり灸専門療院

・ヤマ語會 電八七二二階 国交管サイモトロン 一九九、一二一歌劇

±:

機治御好みの方は

日主権 7 数字はハッキリ見えます 日主権 7 数字はハッキリ見えます このた 10 あれに乗りますか に 9 後から七號が來ました 11 五線れないでせう に 3 乗れないでせう のに乗りませら て、ありや三號で

不用 品親切本位質受 不用 品親切本位質受 意大声月 原話出現政党多數有申込 金工营月赎政 野具 他店に比し三階安大連市 がステッキ 学具他名を 提打 和傘間景、膨脹堂大道岩 古着 簡買入職等上 日藤町 電三七四七 まつや 電点人報等上 賃衣裳攤碗用 實印

第一条 の 個用命は

頭痛にノーシン

ラデオは何でも大製塩

ΕÞ

で 一萬堂 電七八五九番

多物新荷着佐井田洋行 中出し(三〇六八)番へ軍 話(四二三四)番へ

職条数十種あり御高量を乞ふ大連市西通一十一世の半額 で付一市世間の半額 では、市西通一十一年記の三番 級毯英國製

乳見預りの御相談に隠じます

皮膚病根治お預も致舛獵番犬の訓練開始 **港。**一八四議章 * 艮 場

愿方調剂 洋堂堂 藥剂師··友田莞爾 電話。6243 衛 大連信濃的市場正門前

ホネッギ

門專

時計や 将音器の 作本籍際 理は 現は である。 宗皇家·音病院 元宗皇家·音病院 **電話介四四一番** 性病。賴斯下府 野中醫院 皮鷹病

醫富

器尿淡梅属皮 重 。"堪広西·橋盤常·通西盧大

商 二九町濃信市連大

太田長官閣下に 以内のことと ・中傷を目的とす

日居

16早く撤廃して下さい ボーを望む

念が行き渡り、

が関航窓界競機にも、航空會社設立の趣

満

日案内

大連各餐祭響管内に居る支那人 の俗に云ふ刑事の手先と稱して其 一行動をほしいまゝにしてみた者が に亘つて種々な不正の行動をなしに互つて種々な不正の行動をなし

し輸か許富 、味般非な來

店員 入用二十歳中 商等希望 大東吉事町二三 牧川洋デ 大東吉事町二三 牧川洋デ

古本 高

高價買受

講で君の楽繭のついでにも一つの て下さる日は未だ何時の事か解ら と僕、男同志が牽無投合して終ったが、として選ぶをはあるかも解らぬが其為め彼かいちや無いかねのはめに早いよく知つてゐる。こゝ數年は見な 満州に屬化する位の決心の同志はよく知つてゐる。こゝ數年は見な 満州に屬化する位の決心の同志はよく知つてゐる。こゝ數年は見な 満州に屬化する位の決心の同志はよう意様な事は毛頭無い。一つは彼 から足が抜けなくなるのだよ、全たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り) 輸金別と度は もれ失いら 田村小川南氏

社員 招聘園定給支給 安給 さん入用收入多し 大会 さん入用水入多し 大会 では、一大学に 古野町 4

19 字 课成 女給 七木建築協會食堂電ニー四〇九 松和 緊通第二市場横 野町 ライオン 覧べ二七四 涞成教授蜜夜 入用 本人來談あれ

川深町 日本タイプライタ会社 見入な七丘 金融 信用がたしますが 一次 一次 では 一次

蔘精 鶴見州科路院 两公南町六九 治療

クサ 及籍書の特 な際目式に八六二 大岩市浪速町拷旧順大堂 発音八二〇二

町二三、谷澤、電六六六二、流修理技術本位、港でである。

大通響號町通五八 南海堂自山大通響號町通五八 南海堂自山 能甲 大連市但馬町二二 町「常四五六四、六八四六の瀬戸彫り「野田

常線機河鳥ミシン店電六六人四 猫人院留意

洋田東京

ンと業質器は

ラデオ古い国家管の若返り一を表別の表別の大学が開い、七三九を表別のでは、七三九を作品を選ぶ、七三九を表別の古四十億沿を大説を通り、七三九を大きなが、一方の大学がある。

小島 ・ 内島 小動物飼料置 ・ 小島 御具具類一式

写真 は飛鴻町鈴木 東元ルスニ 光葉窓質節 東元ルスニ 光葉窓質節 東元ルスス が町の 開展場側伊勢町九〇 話四〇二二へ 話四〇二二二へ 第小身原局

パタークリーム

不用 品高機質入れ御報次第参不用 品高機質入れ御報次第参 一大谷商店 無機性の節は何卒御用命 大谷商店 大谷商店 大谷商店 大谷商店 大谷商店 女で 出来る店式具店女工店かん 電点質質は正直洋行にき めた 電点 五五七 正直洋行にき めた 電点 5 点七 正直洋行にき 牛乳 ニチ 牛乳 たら大正改物 大連牛乳株式會社大連牛乳株式會社

西島三五電六六六三大連彩 一西島三五電六六六三大連彩

鋮 治 療

泉前電七八五〇 開勝病子宮病 胃勝病子宮病 病议分內科外

醫 汪庄場馬 ルトクド

洋蓮 9 溫各 間 行

堀冱醫院 大連市吉野町七十二(三述伊勢町中間) 医学博士 堀江憲治

着方面に逃走したから是等もよく 十名ばかり給料の不渡りから廣西

分に注意して臭れる際にまこも を対して臭れる際にまこれを にお別れに行く、領事は途中は十 にお別れに行く、領事は途中は十

廿三日、今日は鯨火出發の日だ

船に乗船するので時間はまだ早か でなり機上で同氏の摩生営時練習 でまるので時間はまだ早か

江流がりまり

全国各地の概店にある

き時の過ぐのも忘れた | 演響談に花が突

皖南旅行

なる。なる。 一大のでは、 一てのでは、 一では、 一で

禰鐵運動會の盛況 はは本年は申し合せた様に膨緩難を 日けての膨緩と可属に川應しい大きた、それで一等を占めよとは無理 日けての膨緩と可属に川應しい大きた、それで一等を占めよとは無理 との膨緩感がダルマ駅長の指揮を受 した紙だ、野校だけに選手もフィ がベルを終始鳴り響かせたによった話、内部に何等かの蟠りでもあ なでいたを終始鳴り響かせたによった話、内部に何等かの蟠りでもあ を高めよとは無理 ものがな▲最近に黄紙、常日優勝 のがな▲最近に黄紙、常日優勝 のがな▲最近に黄紙、常日優勝 は本年は申し合せた特に世ました。 振つて臓波する男が一人もあなか つた。たと君連結井餘名がそれに 代つて終りまで臓波してゐたのは 代つて終りまで臓波してゐたのは をの小濫しの順数は又捨がたい 魔がある▲それから紫の地方事務 上太田長官は大要左の如き接拶をされ在都郷人並に露支人の官民多され在都郷人並に露支人の官民多され在都郷人並に露支人の官民多 数出席し機関 今日は常地 の在住各國 官民各位に依りかムる鄭重なる 御臘招に與りましたのみならず 代表の御方より繋切なる歌重なる 明確報に與りました事は私の感 お言葉を賜りました事は私の感 時間出席下さいました事は私の感 最後、一年系には在留邦人のみな まず、惟ぶに治安の絶對維持と ます、惟ぶに治安の絶對維持と また、惟ぶに治安の絶對維持と の緊切なる鴻織沿線各地の視察係の回私ははからずも闘東長官の **郵迎宴盛況** 内外人多數出席して か ルドでござれトラックでござれよい (横つてゐる、魔法既はなかつたは が興心からほどばしり出る生徒の 臓器にはジットしては居られぬ、 此上臓器したらどれ 実勝つことか 文那の何れ の地は現在では 大変形の何れ の地 ・富裕であると云ふ事 ・富裕であると云ふ事 ・富裕であると云ふ事 ・高裕であると云ふ事 ・高裕であると云ふ事 ・高裕であると云ふ事 ・高裕であると云ふ事 ・高裕であると云ふ事

榮ある優勝旗

早大戦補洲際大の下式戦球試合は ドに於て奉行されたが、道早大軍 ドに於て奉行されたが、道早大軍 は終始監領的によく戦ひ三野零で は終始監領的によく戦ひ三野零で 早十 ア式蹴球戦

酸蜜元

東京日本構區輔戸物町 東京日本構區輔戸物町

地方委員選舉と 陣頭に立つ人々

漸く暗中飛躍を開始

概を農業公司に驚渡する件は、公一司經營中は駐農の生活を保證し得組合間の水満問題及び鮮人の小作 の現金を安拂ふ車とし同農場を公撫帳に於ける農業公司蘇鮮人農民 | 司幟より農民組合に金一萬五千圓

西野田は一段落の形であったが、何分公司職では従来同畿 場に既に敷萬金を投資してある上場に既に敷萬金を投資してある上場に既に敷萬金を投資してある上

棋將退敗 影

步角金

步

桂金銀桂香丸 シナ 氏塚飯 駒持

家飯 △ 段六 落香左交香角

王角 ==

步步 飛 玉 1个

124

歌道が、(*1)は直に臀師の腰急手常を受けたるも生命危懲である、尚を受けたるも生命危懲である、尚婦を受けたるも生命危懲である、尚婦を受けたるも生命危懲である、尚婦を持ちない。

中溪湖へ野学校教授 十五日瀬陽へ

工工・国は同公司現在としては相常 事より方金額を受領は一部である。 事より方金額を受領は一部である。 事より方金額を受領は一部である。 事より方金額を受領は一部である。 を材熱領事を通じて組合(職に支援)で、 市間となり大林野長は世華林橋の に世別職に支援のたので、同時配金額である。 で、同時配金額である。 で、同時配金額である。

三其

三柱 ○四步△二八玉▲六三銀△三八金▲三一角△三七銀引▲七六步▲:四步△二八玉▲六三銀△三八金▲三一角△三七銀引▲七

が 時に 惠まれた

天

瑚と紫檀細工

11

淨化運動を起

省城支那側同文中學生徒の上級生 ▲長山遼陽署長

おいまでは、 一方のは、 一方のに、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ので、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ののは、 一方ので、 一方ので、

開いている。 「一大学学院」 「一大学学院 「一大学学院」 「一大学学院」 「一大学学院」 「一大学学院 「一大学学院」 「一大学学院 「一大学学院」 「一大学学院」 「一大学学院」 「一大学学院 「一大学学 「一大学学 「一大学学 「一大学学 「一大学学 「一大学学 「一大学学 「一大学学

優勝旗爭奪戰

尚は續々と立候補

既に上

目前に迫る

3868 5774 8514

4515

52g

西部支店 9324

秋季大運動會

旅順譯前營業所

無職神社残祭りは九月三十日春祭 り、十月一日本祭りを例年の如く 撃行するが、常日は仕損煙火千數 襲あり一般総諸者には神酒、紅山 興あり一般総諸者には神酒、紅山 の能等を張興すると

炭坑祭 十七日煙臺で

タクの

鮮農問

題は

全く

、解決す

農業公司が金を支拂ひ

塔白

百數十名と獨立守である近に於ける賦賦二の喜び場所に於ける賦賦二の喜び場

は ・ し戦後の で言び場にあふれて居た。年一年 の喜び場にあふれて居た。年一年 の喜び場にあふれて居た。年一年 の喜び場にあふれて居た。年一年 の書で場にあぶれて居た。年一年 の書で場にあぶれて居た。年一年

馬城團

学とは「大学」という。

「大学」という。

「おいった」という。

「いった」という。

「いった」といった。

「いった」という。

「いっ

主

縣上院一の富豪たる同部落郷某方も更に機能縣下阿吉堡子の方向に 対伐除副官

一圓二圓四圓四圓

定價

い効果があります。

虫の害、其他荒れ性の方 い、がんがさ、しらくも毒 ひ、がんがさ、しらくも毒

成一点と宮川君は土曜台と電燈系の背 、大小町の地をであるが響と 、大小町の地をであるが響と 、大小町の地をであるが響と

用をおりめしたいのであり、特に子女ある御家庭に欠く

では、 では、 では、 では、 であり、 なのが、 であり、 でもの。 でも。 でも。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。 でもの。

を細かに連合をできます。 を細かに連合をできませんである。 ででは、 でででででは、 ででは、 でででは、

皮膚薬多年の

一滴で殺菌と化粧の

一重に働らく特色

理想實現

三往復に變更す 豊作ご出廻期により 大月二十日より正式に開校した吉林大學校の十八年度經常費は初め 古林大學校の十八年度經常費は初め 古林大学五章五千二百六十元と批 に就て是非支出の必要ありて財政 原の認可を経て更に四萬三千三百 六十元を追加され台批九萬八千六 市林總級事館管内在供邦人八月末 国別 戸数 男 女・計 国別 戸数 男 女・計 国別 戸数 男 女・計 器尿淡 梅庸皮 **本阪** 科毒 **枯大學校經費** 內地人 口林地方の 八月末 潘三

の調製

六六降 廿五錢 御常用トシラ定評アル (鳩印) 平安 五十錢

者は医師歯科医鍼灸師など、同じく病患者の信頼と気動を受ける場合で対象です治療士は前頭側土所は自由に開業勢展出來ます 希望者とで申込めば規則書質験報告等無代進星す オキで申込めば規則書質験報告等無代進星す A. A. Markey

一体戦の等 「株戦の等」 「株戦の等」 「大利のでは、大利のでは、大利のでは、 「大利のでは、 「しな、 「しな、

なほ

(可認物便郵種三第)

生活難の巡査の

南年團の 本る二十二日

祭を盛大に擧行することに決定をなて工事中であつた孔子廟の重修

今日は仲秋節

哈

實

金

增給案提出

小の最良薬と お教へ致します 養生法を

経勝・回路
れ 水灘御機帶を御奬めしま 気程困るものはありませ 気程困るものはありませ で、費下の護身用として とうとうという 京東 舖 本 元費發 堂生資田山 社會業賣本日

額敦磐双牌烏九 商 皮拉 計中 移化石陽廠街站 地

專

炽居真書 十 錢

(櫻印)

壹

あれ

3

以上ノ圖ハ現型二分

ノー図

宫內省御用達 香菜園梅具 鳩 居 堂

二号天祐 十五錢

ずと歴然、 どうかは、 味の素の必要か るに如かず! て美味く食べ 言は

宮內省御用達 味の素本舗 鈴木 商 店

上つて光の方へ走り出しました。

おつしやるとの壁でした。 つてお供の者に朝かなみ驚でから けになるやうなことは無く つても、そのきれいな瞳をおそむ

「貧しい者こそ木當に玉の様な立

寶玉とをちりばめた降誕木を後

たスカートの下から、二つの小さ

歩きになる度に、原珠で総取をし

ウヘカラ ミエタノデ

ナツカシイ

大チャン

タンケン

(101)

ル

ミチ作

胃膓を强健に

3

ラ

ゥ

イソイデ キカラ

デマシタ。アヲアヲトシ

大チャンガ ナガレッ

カイガンワ

オリマシタ。ソシテ モリノナ

タウミハ

クグツテ

カイガンヘト

サマシタ。

ナツカシイ

カイガンデシ

北風の 送葬曲

は沼にひろがる波紋のやうに、町の鰡が鳴つてゐました。その響き 古めかしい教會の尖塔では錆た銀一にして、眩しい花電燈の光に包ま では白いあごひげの露店商人が、 くぼんだ眼を閉ぢてしづかにおい ムけたランプのうす 明りのもと 然発光の中のマリヤ様のやらに神 なしく見えるのでする

九

雪明りをたよりにさがしてゐたま つき道で落した一きれのパンを 立ち上って随 それは仁慈の御心がお厚いので有名なさる伯爵令嫌でした。 世間でも嫌を女神の様に申しました。 事實分譲は汚い乞食等を御覧にな

朝露にしといに裾を濡らしつ

能は余絶えて草のさゆらぐ ちご一つ赤く熟せり たをり飛ぶを追ひてゆきけり 一枝 は

乞食の子は街路に立つて耳をすまてしみんくと頭をたれるのです。

してゐました。

鐘の音はまだ止みません。雲間か

しい女は、思はず

人々はおのづとはい心の扉を聞い

谷深みいつか来ぬれば草茂り何處 ちさわぎ雲の湧き居る 毛皮の手袋等を出して可愛さらな遊った靴や、風襲りの三角帽や、 け、金銭はあでやかにお笑ひにな 人々にお與へにな ら赤いジャケットや、エナメルを

会験のお手づからいただいた立配って、それにお答へになるのです の子も思はず萬巌を口走りました な品を高くさし上げて、その一 ら、自分の番の来るのを今かく そして皆の一番後にくつゝきなが 人々々が順喜の際をたてる度にう と待つてゐるのでした。 しろの方に居た、あの小さな乞食 澄田校長は記者に椅子をするめなカメラを概へて同校を訪れると、 次は頭生高等女摩校の展覽會出品 物を見やら

がらい雪の上に流れ、路上に並ぶ がらい雪の上に流れ、路上に並ぶ

暗い館を明るく照らしました。

館が鳴り止みましたの数會の原が

野の果てに日は落ちにけり

しいお祖父さんが、にとり

しな

らやつて來るかの様な氣がしま

何だかあの重い墓石の下からやさ

背を思ひ出しました。 すると

たつけ」を食の子は簡息をつきそ

粉響はまだこやみなく降つてゐま のあの美しい手から何か素的な物 でもありません。乞食の子は合綴す、でもそんな事は今となつて何 夢中になってゐるのです。 を與へられる幸福を思って、もら 乞食の子は 表具屋の手に渡したばかりでず たった今間艦と書方の出品物を 「信いことをしましたね、彼は

どもまつたくふるひつきたいや

なものが出來で開まて、色合な てもはづかしくないやうな

うた美しのがありますよ

などは渡速町あたりの店に出し

コブタバ

江

コロゲ

使性陽青カタルとなり

この時治療を譲れば、一の時治療を譲れば、一の時治療を譲れるとなりが別見るとなりが別見るできた。

絞り染めや自ら染め出した長袖

見たのです

「質に立派なものがあります

で先づ取政ず係の先生の手許に樂 と如何にも残念さらに言ふっそ けるんでしたがねえし もう一寸早く來で聞くと見て聞

來ない中から記者の好奇心をそ

カヨク

つで次々と運ばれて來る作品に かける。その中に係の先生方によ るやうな言葉を矢つぎ早に浴びせ

すいづれも目の聞めるやうな館か

なものばかり 記者も思はず護疑の驚を放つ、先「ほう、なるほど立派ですねえ」 先

製力な高貴機で、重症機関カダルに動する場合を含まれば単独の概要と異り、前宮内省では、神臓溶験の解をあつめて密線研究を含まれば溶験である場合の概要とる最も重任ある場合のでは、ないでは、100mmである。 は、100mmでは、100mmである。 は、100mmでは、1

何よりヘルプ

るまでの努力を思ふと實に誤ぐま 見ても五回六国と色を染め分けた り自ら工夫してこしらへた理紙を出したもので。一々総でしばった 機を現してゐる。しかもいづれを めてたりして外種多様の配合い複 との生地にいろり れは富士縄、羽二重、秩父器な の模様を築め が出来てゐる。
が出来てゐる。 松椒城久築さんのベビーマント。 五年小秋浪子さんの綿織軽線機取 れ仕立て、桝鑾子さんの綿織軽線機取 で、四櫻幾田ハラエ藤田やす子さ んの女兄常服、四梅馬場光子さん のボイル女兒駅などはいづれも貴

感じがする。それらの作品 かな仕立てよ

本舗 東京 津 村 敬 天 堂 本舗 東京 津 村 敬 天 堂

秋の月なら冴系渡る

ノつのんだら気が晴れる

ヘルブで武装せよ!

(可認物便兩種三第)

招待なすつた時と同じ口吻でおつ と目の御祝ひに十二人の郷土を御生日の御祝ひに十二人の郷土を御生日の御祝ひに十二人の郷土を御 「皆さん、つまらない物ばかしな

と風船みたいに肥えた市る事官の 55」 最の傍に立つてゐた鼻眼鏡 一明日私は早速議員を集めて、合い

職なだけでそれ以上の何物でもな 翅を被ふ資金の鱗粉の様にたち締 官程、感動はしませんでした。そしい言葉にも、牧師さんや市る事 しい人達は金鸌の此の丁寧なやさ もりです」と申しました。而し登録の善行表彰の打あはせをするつ れは丁度花から花へ飛嘘る胡蝶の

でもやがて合繊はその大きな確か かつたからです。

然に威氣高く吹へはじめました。 す題にらしい離をしてゐた犬が、 強きながら秘霊の 態の後にひかへて、緻察官みたい を記であると今途候散会 犬は鶥をいからし 南滿教育會二十周

年教育品展覽會

出品物のぞ記

彌生高女の部

しやるのです。

限を輝かしながらその垢じみた難な確儀をし、細い雨手をさし仰べ 而しその誰をじつと御覧になって をあげました。 あた合嬢の面を、 忽然一種の冷た 線に熔酷でした。乞食の子はおび その犬は狼の様に怖しく、蟷螂の へた眼を見はつて驚へながら申し

が上之臓安子さん、四松上野ミチ さんなどはいづれも質に

から同様の終染めで長郷符が出来である●

吳服店の店に飾つても決して

はつ

鮮かな複機は遺田校長の話の通り

やかない取りで教館の中へお入りくるりと背をおむけになり、輕ろ よ」金嬢はから御言ひになると、 い微笑が雲の様にかすめました。 「お氣の毒だがもう有りません ないったり御恩みをお受けしようました「僕は何も悪い事はしやし お前の手は百足虫の様だ。御慈悲 「醜い奴め!お前の難は蘇め機だ としたらけなのだよし

犬は肩をいからして叫びました。 泣きながら粉雲の中へ消えて行か を乞ふ前に鏡を見ろっさし出す前 にそのけがれた手を切りおとせし

つてゐるといふ戴羅手懸品を見せて貰ふことにする。 中規佐子さんの同じくテー テーブル掛けを

三松志斌美雄子さんのケープ四松大曲チェ子さんのピーズ ブタノ 四松城武子 1 プなど

でき素晴らしく立歌なレース縁の して縁上げた努力の結晶とも見る して縁上げた努力の結晶とも見る 三櫻平山静子さん、三竹吉田文さ森脇梅斯さん、四竹佐野溢さん、 づれも工夫を競らして楽田したも ん、三松貝職富貴子さんなどがい 長襦袢は四松田中周子さん 田文さ

千金の滋養物の

軍手現金卸

大郎 英樓

育アトニーの如きは弛緩したその筋肉を緊縮し胃酸過多、過少はその 意に任せて領収され、祭養は日に加はり、陰重は月に増し、元氣輸送・胃腸病を根抵から關逐するのである、見よ胃腸は玆に甦生し美味美食 分泌を調節し胃カタル腸カタルは患部の組織一帶を運覧してあらゆる 青春重ねて來る胃腸患者よ、徒に病苦を 本舗 無量壽 一たび試みて其質價を知られよ。 圆 | 三圓 | 送料各十二錢 海外四十五錢 振替東京二〇〇二一 数する勿れ、名栗タラコン

壽樂園

要收し、胃潰瘍は細胞を増殖して潰瘍面を癒着し、胃臓鬼、大な作用を有し、たとへば胃癌のやうな病気は、その結節を大な作用を有し、たとへば胃癌のやうな病気は、その結節を

細胞を健全なる細胞に改造する体

し獨特の變質性能力を

製揮して

消化吸収を完全にし、停煙せる飲食物や分泌粉を排泄して胃臓の 質は薬タラコンは、疲勞し、強敵し、衰弱した胃臓の機能を復活して ではない。ななな、必然は、衰弱した胃臓の機能を復活して 青春の元氣を養へ 鬼部に保著せる思血や害素を排除されてその主成分は血管内に吸收されて 與へ更に

薬服一の积昭

心かけませ てのい ち となり となりも とはり

江戸前料理 (英田付)金町十銭 (英田付)金町 (●満洲の温泉 整ひました

心頭亦凉し! 新人に喜ばれる 最新煉香油 芳 香……経雅 **数十五 便定** きのふ

きのふ中華青年團

接戦また接戦

遂に無勝負

(可認物便繁殖三第)

文化的融合 と親善を職が強にないまするは、大変に対することに決定し、今回滿線に対し東京支社を通じて之が残同並に曾助其他の難解方を依頼して來た、多分之を援助すること、なり主として情報既に於いる。 開催の散製

准決勝戦で

四平街敗退

満倶頻りに投手を代へる

八人對三のスコア

全滿都市對抗野球大會

本原、川上四平街先攻試合翻過次 本原、川上四平街先攻試合翻過次 本原、川上四平街先攻試合翻過次 本原、川上四平街先攻試合翻過次 本原、川上四平街先攻試合翻過次 本原、川上四平街先攻試合翻過次

満洲美術界賑はん

出来で、フォアワードに何等後職 出来で、フォアワードに何等後職 があつた▲同様嬢大のフルバッ

上海に於る會期終了後、一週間

しも開催する

合繪畫展

大會始まつて以

環境を指め小洋三十元を運輸して が関守居の妻子を高手小手に終め が関守居の妻子を高手小手に終め が関する五人組の態态押入

入時代第市内三郡通り六丁目三林(安東特戦十六日数)十五日午後

材木商を襲ふ

0

醫

B

四五話電

同一手数にて被害を受けた家があり、この事を対して、この事を対して、この事

ウオターマン萬年筆 アメリカントランプ

大連市大山區 0 旅遊消角 滿書堂文具店 電影圖九九國·四三〇六番

張り恐人酸採中であ

松 不 平 加 渡

に打つた打者には戦りと、これ に打つた打者は不幸だったが石窟 に打つた打者は不幸だったが石窟

好の直球の三嶋打して長澤生還 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第入回 四平街(滿典見玉投手 一本第八回 四平街(滿典見玉投手

順を屠る

十三日 工事費OB工事へ 午後二時工 紅白 (年) 到滿鐵 (午

田撫殿先政、は合戦過大工十五分、は審談の、はの勝となる別戦時二十五分より開始、四時三十五分より開始、四時三十五分、は審談の勝となる別戦時では、四時三十五分、は審談の勝となる別戦時に引ついき無い。

勝(三時半)

四數一二三四五六七八 九計

天文員 古質健衣、廣 山崎一雄、岡澤直、田中禾、

株式、 各地

第二日目の成績

なはらうです

多少に不拘御用命願升 イ水た 柿チ密 0 る



衛煖 上事の御用命は 大連市監部通一〇九番地

度の學力あれば何人に動品及特許品の製法五三 ノーシン頭痛にノーシン

はます。 の野一色電氣治療機御入用の方には御収次し親 東京野一色電氣研究所出身 は 大連市加杏 大連市加杏

野一

らしい。船 敷島町青年會館 音 成であります 、明大理石彫刻を伊太利フロレンスはゆ

太利藝 術品展覽會

宅 風京東獨 界各國 Ł 名 東京風菓子謹製 0 酒 おぜ 産 類 珍 食 料 友い 0 00

宝にテエーンをつくつて合理的なーとする城大のフオアワードが空 中はこの既など見っ大きいのばかりを

一部の中では、カートにて続けの

張人組の

三飯

浦河六十

00元年

口川

B

8

室 中宮安高山 岩木

合で終始したが結局 は恰度驚難でにはが はであった▲無順恋 しては二回から早く

華娼を監禁

本年度の役員も選任

日州内外ピックアップ

ケヂュール決定す

試合の

市内芸術有二代學版十一號代優苗 家紅〇一は元代學版十一號代優苗 家紅〇一は元代學版十一號代優苗 の信仰、洋二百圓外用借三百圓に て抱へられたが、徐は本年舊五月 を題の信仰のため透走鏡を驅きし たので信願者は唯一人幾つて居る 部に對し監察して徐の信仰の返演。 を題り最近信報者達は苗を他に要

金肥を半減し或は使はずに

あらゆる農作物の増收が出來る

一場で學行される

合のスケデ し州外のみ 役員 會長小日山直登▲副會長

日滿鐵對大俱(午後三

を製作を製作を表示のである。更に関えなかった水田とり十俵で云ふってある。其一関をは、数が現れると云ふ事である。其一関として米作で今後五俵より取れなかった水田とり十俵で云ふ二倍。なかった水田とり十俵で云ふ二倍。

石川大塚仲町四一日本土地数良研ない。 されば合出かいる は一般である 東京小で は 一般である またが は 一般である という という は 一般である という という は しょう は しゅう は しょう は は しょう は しょう は は しょう は は しょう は は は しょう は しょう は は は は しょう は は は は は は は は は は は は は は は は は

岩獺(實業)近來の好投を續け

終始大いに緊張す

振、渡邊二匍失に續いたが中川

[奉天]育成對工專(午後二時工 十七日 醫大對補繳(午後三 大連運動場)

成對大商

ラデス

コナ世紀の製、岡山竜

ク挑

、伊藤清八郎・川州一

相場(特産、錢鈔、各地相場)ユ自午夜(時三十分 昭和四年九月十七日(火曜日) (特産、鏡紗、株式、 各地

序連絡放送(全滿選拔大會優別)

ッザ(奉

二十一日午後六時半から

一六日午後四時代から中央公園の映球膨鉄選手欄大會第二日日

0

約

店

五月

雷日は静積太夫、衆術師 東都流元會その健の至政

山梨前朝鮮總督 大元権 イン

檢事局の召喚を見ん

總督の召喚も見るであらうと 総督の召喚も見るであらうと

皆

0

履物で雨 **浪速町** 11

內

あればこそ

月电名月

頭やめなら

あがれ!

む

が早いかす

くなほる

夢ですものねえ!だからわたし、ですもの……結婚なんて思ひも寄らないですもの……あなたは社長の御会

は、
はい、
はい、 まるで半線を失ってゐる人のやう 接触ををよいだ。

が、ひどく緊張した表情で突り立見るそこには、英職の父の英太氏見るそこには、英職の父の英太氏

最が書もなく登開けられて、と彼女は肚の底から笑ひつらけた。

美知子は笑を

と、つかく~と都屋のなかへはいと、彼は話々しげに呼びかける

ず実知子の間をねぢ向けてしまつ彼女の頸に捲いて、有無を云はせ さん!そんなに僕を纏つてゐるの「はゝ」」」「可認さらなお馬鹿 戸の

御綿彫が滅茶々々になると傾有る しもあなたが頼んでもないことを (103)



基語六四六六衛 男岩 室案 診室案 診



汉 科 国

電話 六里 一岩代町が

大連市三河町十八



大阪市東端道県177

食傷による下痢と腹痛に

所謂お腹の掃除に

門波共同汽船

11日本) 女東行 福壽丸 大連龍口 宿壽東 大連龍口 宿壽東縣

育島上海行(華山丸 外元島 大阪商船株式會社 大阪商船株式会社 旧日清汽

生殖器障碍病 性病物毒外族 英建浪送町一丁日 臨院

商陝器療醫 資合

① 大連汽船 山帆

國際運輸機

大阪商船鄉武大連支

石に就き岡理事は次の如く語るて、製鋼所能議會は前院部により組立てられた製鋼所新設に関する全プ

一般所長、矢野戦後の大野、右近南氏は と地方及底称を除く各部長、丘堂 線所長、矢野戦緩所工称戦長、業別 では、山西炭戦長、業別

ち細部に重り檢討し計量を懺頭に タ間的に 根本的な基礎か を開始に 根本的な基礎か

現狀の儘だらう

中央と奉天の關係は密接

朱紹陽氏北京で話る

軍は食職戦乏に悩まされてゐると自労和からの闘來支那人の談であるが、アムール一帶の人の談であるが、アムール一帶の人の談であるが、アムール一帶の人の談であるが、アムール一帶の人の談であると同労和からの闘來支那

開係に就き左の如く語 ・な解除氏は今朝養でし ・な解除氏は今朝養でし ・な解除氏は今朝養でし

陰謀を警戒松花江鐵橋爆破

露が譲歩する迄

千の赤衛軍が駐屯し支那不逞のエシェンスク市附近一帯には約

爲めであると、倘ロシア人の各學の

移りつゝあり、国境を挟んで兩軍の戦時相當長期に取るべく歐亜連絡の復奮前途五日數回支那軍陣地に裝甲自動車を眦せ〔縣してゐるが、其後變化なく勞農軍冬龍り進備に【補州里十五日愛電】前線に在つた勢震軍は二、三日衆籔《後退しつゝあるも支那軍の奇襲を恐れ無

露の威嚇砲撃から

東鐵支那幹部硬化

當分露の態度を觀望

飛行場の入気は素晴いた要がある。飛行場の入気は素晴らい。

させなくとも善い、もう少じ一般、一般し対策をさせる餘裕がないなら 民衆を寄せる工夫が欲しかつた

訂正を称る。 らは」の次に「電熱」の二字を加正 十四日本欄五段六行「是か

航空輸送が開かれた以上まっ

徹底的に檢學す

綱紀粛正を目的に

大田 大田 政治 い形 学である か見込みのつかな 水るものと見られてゐる更に現政 い形 学である か見込みのつかな 水るものと見られてゐる更に現政 い形 学である か見込みのつかな 水るものと見られてゐる更に現政 い形 学である か見込みのつかな 水るものと見られてゐる更に現政 い形 学である か見込みのつかな 水 るものと見られてゐる更に現政 い形 学である か見込みのつかな

心は披露の目的を遂げて満足な 之が物珍しき旅大人士に無理

りとて比特殊依客の輸送までを止りとて比特殊依客の輸送までを止めたと云ふでないが、會社の感覚がある。 から観ても、收益は郵便に繋る、から観でも、收益は郵便に繋る、から観でも、を補ふ、容送郵便の感覚 像に興ふる利益はたいしたもので簡なるべきを補ふ、容姿郵便の民

長期に亘り對峙せん

露軍は二三日以來續々後退

令籠りの準備に着手

した警察官練習生

責任者審問軍縮反對宣傳

仙石總裁は

來月中旬來任か

山崎文書課長歸任談

トン十四日發電】米國上

の病勢は快方に赴き殆ど全快した一來任の時期は來月中旬にならると崎文書課長の談に依れば仙石總裁り多分今月末退院する運びになり、大大郎にも面會を跳続して居った。

巡査の應募者が

定員の約二十倍

大學出が七名も應草

面の露支駒草は多の準備を急ぎ大・ピンとの電話は開通した『ハルビン特無十六日發』康姫方』め荷物を積載中である、オ 電話復舊市間 赤系子弟の 晝間中學を閉鎖 め荷物を積載中である、またハル め荷物を積載中である、またハル 競は貨車の配給を受け引揚げのた 競は貨車の配給を受け引揚げのた

で閉鎖した、理由は「特別區の数 整間中壁テレホーワ、フオミーナ を閉鎖した、理由は「特別區の数 性質した、理由は「特別區の数 を閉鎖した、理由は「特別區の数 を閉鎖した、理由は「特別區の数 した、理由は「特別區の数した、理由は「特別區の数 借りて來て据名付付警戒すると、あるのは飛行機からの爆弾投下であるが、旅廠司令部がら高射砲を



哈市教育廳長警察權を以て

官はれる當の本様シアラー氏は失いでして軍権反對官僚を行つたと 十日ニューョーク造船會社長チャーコニューョーク造船會社長チャー 受くることとなった、協議會社と イスレへ人造船會社副社長エス、 ・ シュワップ氏外二名及び

赤衛軍に支人

满鐵製鋼所 利計算によ 岡理事主 職會を設置に決定 となり社内の權威で 設立計畫は 立直す

根本の基礎から

詳細に調査

委員長は大平副總裁

いる

大連管內人口 太田關東長官 張學良氏を訪問

| 日の課者を受けて一人前の歌官と 理機 | 小龍||塩頭ビルを見趣したが三ケ | 本中屋 | 本来日 十六日午前十一時五分新棚職番列 濱口首相區京

伊國閣員

となつてゐる。

緊縮方針に準據し 念の事業は繰延 満鐵の明年度豫算編成方針

大平副總裁の意見

北滿の勞農機關

| 1る外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く) | 1る外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く) | 1る外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く) | 1名外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く) | 1名外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く) | 1名外、最近は百名を | 方部関係撤當の田邊理事を除く)

黑田男嗣子襲爵员

日本の態度を協議

取各常局より交渉經過を聴取し政府の態度を蹴襲するはずであるが、濱口首相は歸京の途日發電』濱口首相は海軍々精問解英、米交渉を重要観し本日午後或は明日閣職の席上に於

極銀支店も遂に引揚

今明日中の閣議に於て

全を できるのでは、 これに別なが、 これに対している。 これに別なが、 これに対している。 これに別なが、 これに対している。 これに別なが、 これに別なが、 これに関する。 これに別なが、 これに対している。 これに対している。 これに別なが、 これに対している。 これに別なが、 これに関する。 これに別なが、 これに関する。 これに別なが、 これに対している。 これに対している。 これに対している。 これに対している。 これに対している。 これに対している。 これに対している。 これに別なが、 これに関する。 これに関する。 これに関する。 これに関する。 これに対している。 これにはいる。 これにはいるにはいる。 これにはいる。 これにはいるいる。 これにはいる。 これにはいる。 これにはいる。 これにはいる。 これにはいる。 これにはいる。 これにはいる 更迭事情

はぬことになりはせぬか。 の外套でも借りて來ぬと、間は會 月明に動くは敵の多仕座の

中の藤井野部は語る 本の藤井野部は語る 本の藤井野部は語る 流の担造に過ぎない、長 の組合を解唆し新なる知 の組合を解唆し新なる知 の組合を解唆し新なる知 ▲山崎元韓氏(滿鐵文書課長) 同 ▲平井政一氏(日立製作所員) 宗男氏(日本製綿會社員) 一氏(小野田セメント専 氏(字品對軍壓線

帝軍 來連



点組合大會が開催された また一面には今春別府に また一面には今春別府に

の原度が斯く強硬なる以上、迚

り借用に及ぶと

たる

から戦重説論の上層関ト

とが判明したので 島館に情婦と共に

常勝軍早

大敗れ

覇權は明大軍

(=)

媒けきつた 一十坪除の

氏の工

緊縮風を吹き飛ばす好景氣

家民、日本社会 に建った支那人 に建ったアノ登場など に関係を対して、
一十五星紫の雨源に形古りた家屋
一十五星紫の雨源に形古りた家屋
一十五星紫の雨源に形古りた家屋
一十五星紫の雨源に形古りた家屋
一十五星紫の雨源に形古りた家屋
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが出りた
一十五星紫の雨源にが上り、
一十五星紫の雨源にが上り、
一十五星紫の雨源にが上り、
一十五星紫の雨源にが上り、
一十五星紫の雨源にが上り、
一十五星が上り、
一十五星が上りた。
一十五星が上り、
一 立體的にさへなつて行く傾向

海屋ビル、西へ関町の満鎌消費数 を最の一頭も既に取扱いれ、又西通りの職後の 造りの堂々たる独物が既に起工され難し新に満州雑社の不院建総で、 更に連鎖商店と電車線路を挟んで 更に連鎖商店と電車線路を挟んで マング式大建築が外廓の竣工に近に、又西通りの散後の遺物たりした。 又西通りの散後の遺物たりし

目分の

叩をきかす時代

満洲を故郷とする氣分から

原から住宅地

店、満電々鐵事務所などを初め天店、満電とせい、西へ関町の満鎌消費組 下の大連々鎖商 東ホテルも昨今既に殆ん 浪速町と 東京四階でも半

壁に向ひ合つて山田三平氏の工費の工費五萬川四院建五百年の燃瓦の工費五萬川四院建五百年の燃瓦の工費五萬川四院建五百年の燃瓦の工費の開発の工費の開発の工費の工費の工費の工費の工費の工費の工費の工費の工 年以上の工程を急ぎ野便局隣の交通銀行 たし、之と相 家が

新築中の主なもの

北平梨園

0

名花

特派機歸る

來る二十二日に舉行

一個人でないかと見られてゐるかつたが照識と同かったが照識ナ陽替店の影響と同

恩

維銘來演

々協和會館で

大連郵便局建物 北美を誇つてる 悪く竣工の噂は 正なるものでこ でこ でこ でこ

中日文化協會の招聘により、連十名化戲響館が品鑑器をひきつれて北平の人氣を一人で背負つてたつ

東に今回の魔間は一行の地位を失ふのを 共に今回の魔間は一行の地位を失ふのを 大しとせず暗に策勝して一 なっちれな死西順に乗りして、 本つたものよべ不ご、何時 ではなった。

大連キリスト教育年曾及閩東原語 対域バスケットポールナ会は来る二 中二日午前八時三十分より大腹場 サニ日午前八時三十分より大腹場 はは本社メダル、Y、M、C、 の際チー

虎疫發生

鮮人續々罹病

電65

でないと見られてゐる

哈爾塞

類郊外に

馬

敗團橫行

松花江鐵橋を襲ふて大騒ぎ

年舎の関系に対する。

防疫に狂奔

九月十八日午後四時半

路支紛糾で益々猖獗

かんにこしらへる、快適な自分のかんにこしらへる、快適な自分の

歌のヒンタ1ランドを控へる大連 での草原が山羊や羊の放牧の奏 が電車の窓から眺められた空地が が電車の窓から眺められた空地が のをといるします。 での草原が山羊や羊の放牧の奏

あたのに、**今や自分の家が**

容してゆかねばならぬ大連である。いづれは百萬の人口を包

数の匪の変を変している。

り開催される全漢選技野球大會の放送の響

第二部 専門県校程度以上及び一第二部 中等事校のみ

連女紅場揉める から成る馬威威が村から 科以來北浦地方には多數

の爲運奮し午前十時帯外に驚いた十六日入港はるびん丸は途中風浪

昨夜萬歳街に

ピストル强盗

小錢と金指環

を強奪し

主人の機轉で逃げ出す

時化で遲着

った

苦力頭の喧嘩

一二科展覧會エハガキ 一二科展覧會エハガキ

黑丹神代杉製短册掛

なら

誘き出し殿る

にんしん按腹

まつかが日本日の常盤號額像店

本店

踊の藤間氏招聘から

神止とな るやも知れない 行し來れるものと思ひ大師がをしたが脱は統器を確ふ目的であっただり、一般色悪ければ思版は各所に概定するであった。 色テロリ圏が銀術を埋めては夜陰に乗じ逃亡した。

秋の溫習會を控へ理事者側こ

派と睨合ふ

野球中繼放送

の開

大連放送局では十七日午

据げて際然たる勢力を有し鬼角の に動の大御所として各遊感に手を に動きを は、また一面には大連女

が現れ郷一間を買求め小洋二十銭が現れ郷一間を買求め小洋二十銭が現れ郷一間を買求め小洋二十銭に居か店銭枕文川(ま)を製薬の下へ押しやり王にモーゼル拳銃を下へ押しやり王にモーゼル拳銃を下へ押しやり王にモーゼル拳銃を下へ押しやり王にモーゼル拳銃を下へ押しやり王にモーゼル拳銃を下へ押したり王にモーゼル拳銃を下へ押したので王が飼養を取りたが、

を 対位の 御を 神面数名 で 神面数名

早苗校落成す

遺骨を

て女に溺る

老父から保護願ひ

第二 三三七

出し何處ともなく姿を消した沙河たのでそれと知るや賊は戸外に飛ったのでそれと知るや賊は戸外に飛ったのであるという。

(明)五清根來(慶)六清松下(商

■(早)五階中山(早)、六帝富永 一一分一参四(大倉新記蔵)二帝 可山(早) 一分一二秒、四音五十 田(明) 一分一七秒、四音五十 田(明) 一分一七秒、四音五十

一着鈴木(法 一簣法政チー

市四大山通

早 部高等小壁校は強て地楽中であったが態々落成したので十四月壁が一般校に收容中なりし生徒の最 昭和四年九月十六日 日午後四時攝津町明照 日午後四時攝津町明照 脇光岡馬柳大松鶴小落 川瀬嶋場沼森本田松合 省友 輝熊次龜 周 民喜勳勇治勝郎久徹郎

準備車輛~一幅積の各種~一幅積の各種 大輪貨物 タクシ 電話三八六九章

第一天堂 主風呂崎 は御來堂下さい 大連市美藤町二五電六六八八 大連市美藤町二五電六六八八 大致候間摩知各位に誰告申 はず本日午前五時十分死の處療薬相 自而報義は十八日子前ん母犬見護犬も及後者このことも『こ日を代へ離告仕り候 で代へ離告仕り候 で死去仕り候間��段御通知に代へ離告仕り候 陳而病氣之處療養不相叶本日午前七時五十

0 額椽と繪畵 419

大日本忠爱義會

神代の では がいる では がこの一所日は (世間) では がこの一所日は (世間) である がこの一所日は (世間) である でに 既に 三百七十九頭と言ふ 微増 でに 既に 三百七十九頭と言ふ 微増 全滿籃球大會

仲秋節で豚の需用激増

けふ午前十一時に約四百頭

宮崎鏡太郎氏及び藤井織三郷都はい山崎文書既長、海町鑑然殿舎記代を、小崎田セメンが山崎文書既長、海町鑑然殿舎記

- 三輪大

一銀八萬字千七百圓也 和四年九月十四日 大連東鄉町一一 大連東郷町一一 大連東郷町一一 大連東郷町一一 大連東郷町一一

2 番 大衆化! スポーツ化! 車同好4

贰拾五圓 断二丁目一七九 田 秀 一 宛 又 は



千三百四。二

氣を悟ってた

來る二十一

智會は大千日

すると何し金四 した質め遺跡

E

0

家屯附

近

一二監判大大十九監 第二日は十五日午 一十五日午 全國學生水上競技會

鈴木(法政)一

明大七二點、早大六

周年紀念割引大八月二十日より九月三十日まで 大連市吉野町二〇 **獵具附屬品** 出

割五分引

語四二六六

があるものを規定して油工原館甲合規 の統一をはかり、又質質間の油工 の統一をはかり、又質質間の油工 が表する。大臣十二年度に於ける油工等。 大臣十二年度に於ける油工等。 で変更な反動を行ったが大きた。 がある。大臣十二年度に於ける油工等。 で変更な反動を行ったが大きた。 で変更な反動を行ったが大きた。

五、生産の数節を隠るころ十餘時

下公園其他の話間に隠するこ

見寄り寄

夏 | 英

◆…だからこれを然う無理せずれが適つても探算出來の方法に 更改しやうと云ふのは合理的で ある。 ある。

今定期取引(單位錢)

○現物取引(單位錢)

○現物取引(單位錢)

○現物取引(單位錢)

○現物取引(單位錢)

○現物取引(單位錢)

○共物取引(單位錢)

○共物取引(單位錢)

○共物取引(單位錢)

○共物取引(單位錢)

○共物取引(單位錢)

油工統一と生産調節

會員の紛議調停

原料及製品の需給狀態調査等の事業

◇--大連油房聯合會 四

る。 は大した事はないだらう、絹物は大した事はないだらう、絹物は大した事はないだらう、絹物は内地機業家がはへて居るので安いやうだが、生糸は割合に下げない、是は米國の景氣のよいのと、解禁後爲替高を見越して今から仕入れをするものが多いのと、解禁後爲時高を見越して

等の無分が各方面に混つてるる等の無分が各方面に混つてるが、 は引線き十二月末迄の送炭五分 は引線き十二月末迄の送炭五分 がは相當考慮を要する問題だか ら回答を保留してあるが場合に よつては内地に赴いて協定の條 変に基き瞬合 智側と折値の上撫 順炭のみは除外例を求むること になるかも知れぬ

神秋節ご 神秋節ご 神秋節ご 神間影響するも 大體平穏に推移 大體平穏に推移

両物類の影響は

送炭五分減に就て

撫順炭は除外例を求めん

満鐵、回答を留保して考慮中

辞銀券 ・ 十四日現在戦緩 ・ では、一七九、一六日 ・ では、一七九、一六日

二市場は恒例により休業 一部場は恒例により休業 の最の

二市場休業

大阪を出襲したのは十三日午前十一時、太刀洗では十分か十五分の休憩で直ぐ窮山に飛んだが京城までの旅客は只の一人だっちだ意想外に繋を飛行で支護側の中をが進行の速い機上は極めて下を通る聯絡制は大分揺れてるたが進行の速い機上は極めてで下を通る聯絡制は大分揺れてるたが進行の速い機上は極めてでを通るで、一番の難コースは平穏だつた。一番の難コースは

野本回転を多くする事に事心し、 一次本回転で、店員は耐般貯蓄主義で、 一般では、 一般では、

で概合の金なぞは全く使はない を必要はないじゃないか。道理 る必要はないじゃないか。道理

たい満洲の景氣は何うなる?日 禁 漫

甲と乙の對話

物價は未だ下る
・総へ。正月十六日から二十一き総へ。正月十六日から二十一

甲。

10つッキリ同ひ度いものですね」
「中。銀安と輸出入品の関係をも少」
上海製品の輸入

ス。ウン、大體鎮が安くなれば支那からの職人は遺り悪くなるものだから、メリヤスでもタオルでも今後上海製品を職入して在満日本人に変れば除器側安に供給出來ると思ふ。 中のおた抜け目はありませんな、 本等もモット注意致しましよう 今日は御職で大分物識りになり ました。序にモーツ解数までは 下るとして其後は一體傾うなる ものでせる?。

雜穀解禁を請願

吉林、哈爾賓兩當局に對

支那製粉業者等より

内地經濟界は

不景氣深刻

飛行機で歸連の石田氏語る

産業界を顧慮せぬ遺方は不可

めに多大なる努力を拂ふて居るが政府當局がメートル法宣傳の爲

解禁 は憂聴すべきで質に影響を炒くして解禁しやうとするならば匿々たる面目論の如きは放棄し一時平價を引下げても我放棄し一時平價を引下げても我放棄し一時平價を引下げても我にある事は何んでもあるまいと

話はない」と一臓否定しつゝ左の店長感聴感に就いて「未だソンな

か知く語った を発育に行つても楽師か何ち を張り國際市場としてフレッシュな補別の方が何れ位よいか知 た暴のと思つてある、僕のやちな 係累のわいものは行けと言はる れば無論電報一本でも行くが今 れば無論電報一本でも行くが今 れば無論である、僕のやちな の處まだソンな具體的な話は少 しも出て居ない 各地商議の

東に三商議から 意識所観察園が飛連することは既 報したが更に他豪所職二十一名は 九月十九日、富山商職二十一名は 二十九日、富山商職二十一名は 二十九日、高知商職二十一名は 視察傳來滿

銀崩落金昻騰

鈔票六圓臺割れ

波瀾を示す金銀市場

特徴する複様である(単位一队 ・・・・ | 特等 | 収 二、番 20 10 新鮮米 | 特等 | 収 二、番 20 10 ボ州米 | 大公 10 ボルス 10 10

(編章) 全国(0) (編章) 生国(0) (編章) 生国(0) (編章) 生国(0)

る対で目・立後針四百 ・ダンレカタネグマ 財 添に池電 "B"

一人一言 別上受くる便宜は多大のもので 「所載して最早十年となるが実地 に国々なる為め取引上非常に不何 に本なる為め取引上非常に不何 になる為め取引上非常に不何 をあるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所の如く 一番早く一般の頭に叩きされる。 は続てキログラムを出 は続てキログラムを出 は続てキログラムを出 はなって行き渉る事が 思ふ

産

式の郷取引は山

介治。禁护

#造-計算-監督 宗像建築事務所 Had-宗像主一建築-設計-監督 宗像建築事務所 Had-宗像主一

思思案するより

3

あがれ頭

ハッキリ

智慧も出る

洋服家

装飾

•

0

.

.

.

國

貴金屬製作

大村洋行へ

一金型 性 女 新一作念記朝器男光浦三・督監助之平所五子零波流・枝静日龍・代絹 P田 夫秀野藤・光 内山・郎一城結

大連市磐城町七番地電八四七九番

六日

用の唯

特專

許賣

栭

寒防

38 62

安く

大衆の利益にして

積極的節約なり

我社の製品は

優良、安價の

二大條件を具備

0

を倍加特製せる 適に導く卓効あり、常の興奮を與へ精神を快に強いをいる。 として盆廣く

無三小が容れている。

一番よい

内のラカキ

專賣品 品一

回 B B B

荷權威・

四8煉齒磨

是非必要~

山内s体温討

貴藥サフラン



昭和四年式新型セシターを此機會に於て是非お買上を願ひます

花客を迷はしてゐます。

割

太

類似品の多い今年の暖爐界は尠から

どうぞアレいコレビお迷なく改良に改良を加へ 價定 八拾八圓五拾錢より

察官新は 行 叫 公 V 記 平 者 智 立 期 す 會 す 0 3 上 為 店め 頭 警

昭和五年二月末日迄 (壹個二十錢) 年三月十日 債 劵 1 五 二十本 三十本 廿五本 十二本 本 約 店 各

參等

五拾圓

同

演等

壹百圓

勸

壹等

四百圓

オ

等四

參拾圓

同

五等

貮拾圓

同

圓

同

(同不序順) 秦天富士町 六番地 東京 1 町 六番地 東京 1 町 六番地 大連市榮町一五 旅順市乃米町二 金州東門街 **撫順東:條通一八哈爾賓道裡地繫街** 大連市加賀 大連市岩代町三五 東縣四番通七丁目

賣出期間

塗料

抽籤期日

同

大連市伊勢町五八。大連市奥市四三 大連市若狭町一七三 肇永公明大安樺日高鈴權久野大大石岳か小須緒佐山津杉大田德德德福石 新和興記塚阪 光柳木太洋洋八山南ぎ川藤方 城田元徳中 義田田 窯公金相支商 洋商洋商大品支洋商公商大衛 商商商本商 洋物洋 司司行館店店清行店行店店店店行會司店郎門店組店店店店號號行店行

三四四支月一二四三十二五三 九三八五六七 四五回 O ハ 一三七八八〇七八七九八一二 三三四電話 四六四八十七〇十七〇 九二二五 六六八

代總洲 大

賣阪 元

(改

二記念大景品付破天荒の大賣出心

頭痛を覺るて

を知り

知つて頭痛を忘

3

個

御買

上

12

對

L

壹

枚

0

劵 を

差

土:

げ

ま

す

品

は

七

>

3

2

-

1

7

壹

三、開業廿五周年記念

(滿洲總代理店)

失連伊勢町 久保洋行 久保洋行

一、商號改稱記念

(元愃六本店)

一、天

寬記

(本年五月大阪行幸の砌り天鷹の光榮に浴す)

松木像氏著商租権に就て徐宗澤氏著明代文那四洋學術紹介の偉勳者 (各地書店) 松木 侠氏著 上杉は喜田著仲士(積卸)苦カの研究離 發行所

日

噴々 好評 野中時雄氏著 家より何を期待すべきか 際上の習慣

協 會 更に、 御清掃によって、更に さわやかなり! ン協語 0



À. 三三七八話電

蒲 (手切品商) 店商村西



類 大学 一章 理代 名 家 一章 世代 名 一章 世 一章 一章 世 三郎著歌はかうして 作尾山第歌はかうして作

主力艦建造

垣休

止を

在哈露人引揚

午後に入り

益々白熱

全滿軟式庭球大會

新關東廳裁判令

一兩日中に發布

訴訟が簡便になる

耶師長の首實檢

反蔣聯盟説に憤慨

全滿硬

球戦

選手權獲得

ン七度

十五日より始る

英米歩み寄る 軍縮會議倫敦で開催か

勞農智識階級の

教育些

貝負擔增額

(小・館(旅)

満)、渡邊(三井)、

決議文提出

主國町村大會代表が首相に

gete like etall ega isi

現制度の儘改善

洋建制實施は未決定

大消費者に糶参加を慫慂

中央卸賣市場は

反革命陰謀暴露 義務教育 張制訓令

「東京十六日發電」全國町村大会 翻を期す」との決議を可決し正午 「東京十六日発電」全國町村大会 翻を期す」との決議を可決し正午 「東京十六日發電」全國町村大会 翻を期す」との決議を可決し正午

新 労農 震は

奉天地方の

青田賣買

今年は全然失敗

佛國軍艦入港

| 【東京十六日愛電】 潤口首相は十六日午後二時宮中に参内県居座下海番艦につき天機並に御機械を率 濱口首相天機奉伺

綱領は準備會で決定

末に結黨式

細変します。単変は一個では、一般を受ける。

で、地方政黨職務

大 なほ無難式は十月末東京に開くと

品の取引あるに過ぎない、斯く
「本」
「本)
「本」
「本)
「本」
「本」

| 區域的法權撤廢を 米支が秘密交渉

兩國の通告回答は妥協の上作成 府支方面で頻に

宣傳

草に闘す

北滿ロシア商人

ものであるといづてゐる、

等を立場の本質方等を立場の本質方等を立場を対したが、然の本質方向を規定する制度の大綱等を左の如く決定し午後六時半散館したが、然の本質方ので、勢働組合、農民組合の確立協力化を重要なる任務とすることと、労働者、農民無産者の利益と自由の擁護の伸長を過ることと、労働者、農民無産者の利益と自由の擁護の伸長を過ること

ること

暗雲

開された

上海の邦品市場

排日貨漸く具體化

れて居る

本の暗雲に閉ざされ市保

日献兄太皇の世 ・ は、一大連商議 ・ は、十六日 ・ は、十六日 ・ は、十六日 ・ は、十六日 ・ は、り自動的に對は經濟過安を行 ・ は、上海特別市國民廢除不平等 ・ は、り自動的に對は經濟過安を行 ・ は、上海特別市國民廢除不平等 ・ は、上海・ は、上海

補充を先きに 引揚のため投賣 特産商も露支紛争で打撃

黑田國際運輸專務談

春方面の製粉業者は非常に困惑してある、然し 七木作告も、 軍需品調達の賃 あに辞せられたもので、永騰き するものでないと觀られ、下落 の兆は少しも現はれず依然とし て平價を維持してある云々

英首相令息渡日 現マクドナルド氏令息マルコーム でき出席のイギリス代表と共に日本に向け出發した 大連市参事會は定數に充ったであため流動した

事

の一条航十六日午前八時代大連港外にの一条航十六日午前八時代大連港外に 在に依り吉林縣政府では吉林總面 高麗堂総子祭、下九台西倉羅賞子 周之、烏拉鎖商會護董邵縣臣、誠 「信銀商會文層趙定華氏等を委員に 「信銀商會文層趙定華氏等を委員に 鐵筋 英士 月末 三五〇 鐵筋 英士 月末 三五〇

定期後場(單位級) 海村高值安值大引 海村高值安值大引 地來高。期近七百十二萬國 地來高。期近七百十二萬國 現物後場(單位級) 無對金銀對洋金對洋 一時半人是(0 11111至 18100 11時半 人是(0 11111至 18100 11時半 人是(0 11111至 18100 11時半 人是(0 11111至 18100 11時半 人是(0 11111至 18100

長春の新領事

田中(統権)、ラングドン、西村、 本同第二ラウンド 三浦(施)、渡 本同第二ラウンド 三浦(施)、渡 (東) 河(藤) (元 村(山) (東) (元

ラングドン、匹も

百三十九名、之に家族その他の客にすると次の如くであつた。 米殿本土四四人、日本一八人、 米殿本土四四人、日本一八人、 大殿本土四四人、西本一八人、 東京で一五人、 が第一四人、英郎一四人、ニュー ジュランド五人、 藤洲五人、 北

會議始まる

の陳述あり議長ウイルド の陳述あり議長ウイルド

第二囘太平洋

朝鮮博覽會

書報──(館、補蒙多考館)

會議の思ひ出

即ち社會の各階級、各方面から

には、本学のであるが、英國の機能で開き直和急に要更せられ、支那問題は最も重要なる地位を占むるに至り、特に其の治外法は、相情地の問題等の為めには、本質を持ち、大阪のであるが、英國の機能で開き直和を表している。

15 貴方中の方へいらつしやいます。 15 貴方中の方へいらつしやいます

費方速くお乗りなさい、御遠慮

では、6 遠方からよく判るのですね。 7 数字はヘッキリ見えます。 8 貴方の目は本常に良いのですね。 11 11 左続さ、中は満員ですな。 12 乗れないでせう。 13 乗れます、貴方先にお乗りなさ

動領袖三人、法律家一人。

司太平洋問題調査會幹事武田胤雄

御手紙の文句の中に君の來滅が

は何より鑑を作って繁殖を上手にそれで先づ第一に自家考案の立體、大時職器の要作に収掛つた。繁鑑、電が開業の立性に収掛った。繁鑑、

H 報

一家の地より

母國S友、送多書

窓海なのだ、窓海は僕の妹を無論 とでせら、解製も手放すまいと とでせら、解製も手放すまいと

一般すまいと

大團圓を夢みて 第十五信

家へ聞かせに行つて下さつたとは 仕事の御都合も御ありだららけれ君も御宅の皆様も御達者で何より ゐる。又瞬觀もどんなに安心する君からの御手紙を有難く拜見した 爲めに御意見を承りたいと思つて

立たず日が深い、内地等では味は へない良い類様だ。 大便に僕が纏った多産鶏、あれを 見つて持つて来て下さるのが釆滿 の他の目的だと云ふに至つては酸 時きへ買得たかったあんな良、鶏 を酸水僕が滿洲での養鶏薬開始の を酸水僕が満洲での養鶏薬開始の が水に居た

よく知つてゐる。こゝ數年は見ないから如何んなに成人かと云ふ掛 彼女を恍侶として遯ぶ卷へが動搖 する線な事は毛頭無い。一つは彼 か と僕、男同志が意縁投合して終つ 仕
満
内
鮮
人
に 朝 朝博利用を望む 鮮 博覽 會 てが触の跳弾のまゝならん事もる (無質論で終り) 便 IJ

『京城』朝鮮博覧會経済部長總 特殊な通じて在滿内鮮人の朝博に寄せた好点を謝し併せて今後 の希望を傳へるべく十三日記者 に對して左のく語つた に對して左のく語つた に對して声る者は終昏線監視下を が記された。 に対した。 に対してかく語った。 に対してかく語った。 に対してかく語った。 に対してかく語った。 今村殖産局長語る で、特に今回の朝鮮博士の大学でもあった。 で、特に今回の朝鮮博士の大学でもあった。 で、特に今回の朝鮮神士の大学でもあった。 で、特に今回の朝鮮神士の大学でもあった。 地に在る 隣者をし つかりと

質をる任ある 紙利を構る を用共豪と

かけるりますがであります。 を持に日本全土を駆けて與へられた 特に日本全土を駆けて與へられた 特に日本全土を駆けて與へられた を関い がはありますがであります。 でありますがであります。 御懸篤なる御後勝御相

とを切磋に堪へません、戦く朝鮮の 地と人とを知っていたできたいこ 地と人とを知っていたできたいこ

選き 人間味の溢れこ そ接張の一ろじいスリ際を逮捕した。風物と人士に接觸されて得られ一他の五名は十六歳と十八巻

者及切符竇上總額は左の如くであ開場二日日(十三日)の朝博入場 一日目入場类 マルニのなど 支那語會話 支那語會話 学二十二囘 第二十二囘 第二十二囘 第二十二囘 第二十二囘

モミ 根治側野みの方は

五階球

日本町 電三七四七 まつや 古藩 間貫入報会上 日本町 電三七四七 まつや

頭痛ピノーシン

乳見預りの御相談に順じます 市内美濃町五七番地

田洋行

> 場 馬 江庄場馬 ルトクド

皮膚病根治お預事致舛獵番犬の訓練開始 小鳥ニサ器具一式雕霞 カウベ 獵大學校 カウベ 獵大學校 カウベ 獵大學校 カウベ 獵大學校 。 電影令大製加大 全七光連圖洋連 ス小甌の O 各級 五洋山間九行騒紙 行照紙

愿方調剂 「洋堂菜局 藥剤師・・友田莞爾 電話,6243 香

ラデ オは何でも

・ヤマ防舎 衆人七二二番 一九九、一二二、歌題

野中聲 茜院

醫富 重 。谓広西·稳盤常·通西值大

ぎなう 店商原中

良民である私達支那人を苦しめて ・七百名餘りも居りますが、冬方面 ・七百名餘りも居りますが、冬方面 ・七百名餘りも居りますが、冬方面 ・七百名餘りも居りますが、冬方面

_Kの 正 s 否

牛乳

を以で居るかと云ふ事がわかる な料金を微軟して市民の試乗を な料金を微軟して市民の試乗を たくとも如何に飛行率が安全で たくとも如何に飛行率が安全で はたなら態々京城或は東口迄行 とない。

た員 入用二十歳計 商業希罕 大連吉事町二三 牧川洋子 大連吉事町二三 牧川洋子

件乳 パタークリーム 海州牧場 電点

本ないとか如何にも大人気なきを をないとか如何にも大人気なきを をすず、かんるをなすものはたいである。如 何人も是を知る。君子危きに近よ らず、かんる家庭には不良青年少よ

ならん事を いるのだよ、全 のだよ、全

金

川越總領事

女給 さん入用水入多し 大給 さん入用水入水散 おれ 本人水散あれ かっエー木村 かっエー木村 **社員** 招牌區定給支給 資田

習字 读成数授畫夜

1)第三 日本タイプライタ憲立 生前町二 池内 東八六七五 中前、午後、夜間 治療

門札 の瀬戸彫り 野田 常整橋河島ミシン店電六六八四

伊勢町、電四五六四、六八四六の瀬戸彫り 野田

東連町 戸田洋庁電三九〇三者 棚馬具類一式 小動物飼料置 の総大人の大き

安郷服の準備本機関有日東部三五八四番 11井

牛乳 たら火正牧場 一手 ロバン 電話大大八五 一手 ロバン 電話大大八五 大連牛乳株式倉社 七番 東京自學校出身 東京自學校出身 東京自學校出身 東京自學校出身 東京自學校出身 原籍電七八五〇 鋮 商治 療

医学博士 医治

大連市舎野町七十一(三菱伊勢町中間)

震议分内科外

出の三三三話電

ホネッギ

英文 及邦女女イピスト生短期 英文 一般邦女女イピスト生短期 英語 - 個人及グラス教授高等受 を開寄信令有設 英郎會 作後夜間寄宿今有設 英郎會 年後夜間寄宿今有設 英郎會 外理館手穿集速成臺成合 外理的場合「一三四五

邦文 タイピスト短期臺成

クサ

大種近江町二〇七 電話大七五五番 電話大七五五番 近江町二〇七

科器尿淡毒梅虜皮

國 國

首方面に逃走したから是等もよく 十名ばかり給料の不渡りから廣西 中名ばかり給料の不渡りから廣西

一個事は途中は十

南旅行

記

に出かけた宮時の鰹館談に花が吹き時の過ぐのも忘れた

亞綱亞大觀社

になり機上で同氏の壁生當時練習ー 清の大指主任の厚意で登餐の馳走 いたが碼頭のヘルクに行つた。日 の大指主任の厚意で登餐の馳走

は更けて午前一時に大通神に船は に身の曲折に從つて幾多の三稜洲 の間を左右に交鳴しながら溯り夜 の間を左右に交鳴しながら溯り夜

上太田長官は大要左の如き挨拶をされ在留邦人並に露支人の官民多され在留邦人並に露支人の官民多され在留邦人並に露支人の官民多

世で、それに腱接駆したが、 を選携しそれらを自なの海軍と見せて発展、 を選携しそれらを自なの海軍と見せて発展、 を選携しそれらを自なの海軍と見せて発展、 を選携しただけあって秩序整数を見せて発生しただけあって秩序整数を見せなの海軍士官が總指 を表表しただけあって秩序整数を見せなの海兵委の海兵委の海兵委の海軍士官が総指 今日は常地 の在代各國 官民各位に依りかいる鄭重なる 御鑑招に與りましたのみならず 御鑑招に與りましたのみならず 代表の御方より懇切なる歌迎の お言葉を賜りました事は私の盛 時間と記さる所であります、 殊に此の席には在留邦人のみな らず中華民國及露西亚の方も多 の緊切なる満鐡沿線各地の視察任に就きましたに依り最も關係の同私ははからずも闘東長官の

支那の何れ

一般でかる

支那兵に

図の對議政策の二です。 経済上における機會の均等は が関上における機會の掲割維持 をは、性がに対立での掲割維持

図の光が水画に揺れて彼方此方に 砂る、夜は暗ぐ階磁池の汽船の電 砂る、夜は暗ぐ階磁池の汽船の電 でなでするらしい、学には柳樹が をででき行く方角さへわからない でなでですった人がに入り場所に でなでである。 では渡し舟に凡でを低せながら暗 がいた人がに入り場所に がいる。 去り影を残したたと嬉の音がかす 舟が來る、舟は途中で止まった。

た、経営日の成職は左の通りで、経常の、年後五時感音裡に散音

太田長官の

内外人多數出席して

は本年は申し合せた様に應接族を でった。たと看護婦州餘名がそれに 代つて終りまで應接してゐたのは をその心霊しの應接は又捨がたい はある▲それから紫の地方事務 は本年は申し合せた様に應該族を は本年は申し合せた様に應該族を は本年は申し合せた様に應該族を なべルを終め鳴り響かせたによった なべルを終め鳴り響かせたによった なべルを終め鳴り響かせたによった なべルを終め鳴り響かせたによった なべルを終め鳴り響かせたによった なべルを終め鳴り響かせたによった。 は本年は申し合せた様に應該族族を なべれを終め。

で した組だ、學校だけに選乳もフィー と した組だ、學校だけに選乳をおかって とは無理 るのかな▲最後に黄組、常日優勝 ののかな▲最後に黄組、常日優勝 でもあって とば無理 るのがな ● 最後に黄組、常日の とは無理 とした組だ、學校だけに選乳を占めるとは無理 とした組だ、學校だけに選乳を与いる。 はが真心からほどばしり出る生徒の性が真心からほどばしり出る生徒の は上臓嫌したらどれ女勝つことか いまい 外記 であつた く揃ってゐる、應接戲はなかつ

過

あと戦月に迫った無軽の地方歪鼠 一板の池島周嶽氏は冬區に取って洩ると戦月に迫った無軽の地方歪鼠 一板の池島周嶽氏は冬區に取って洩めるべら急戦して堂々と出馬を官部組織 | く獣酸し、飲食店総合長の加藤百 | 株の池島周嶽氏は冬區に取って洩ると戦を乗して数票を集めるべい。 既に十一名を超過、尚續なとして定員十七名の所へ約二十八名にて 立候補を宣言したる者

早大軍勝つ、閉戦午後四時半に終心聴戦略によく戦の三難勢でドに於て暴行されたが、遠早大軍 早大勝 ア式蹴球戦 氏は一區以外の東方面をも置食せ、大は一區以外の東方面をも置食一氏と良藤繁助氏の一輪打であるが後藤の一個の編第一氏と 第六區は、古質初市へ出現する模様である、 非 学 に (鬼) が 立ち 三つ巴 次郎 (新) 耐氏の 野陣の なかへ (地) 伊東

は、一區以外 をも常選は疑ひない、第二區は寺 をも常選は疑ひない、第二區は寺 をも常選は疑びない、第二區は寺 に青兵常君と河離留一氏の鉄が に青兵常君と河離留一氏の鉄が に青兵常君と河離る一氏の鉄が に青兵常君と河離る一氏の鉄が にある、宮本

は「坂本吉三郎氏出馬、無産業を看は第五區より、第七區新楊町方面は第四區より、飛鳥井氏

全く

くと中山 た、私産は陸に上り先づ厩店に入ては盛つ 流となる、船頭は全力をそとぎ漕ぎは盛った、船頭は全力をそとぎ漕ぎは盛かれた。

格 白Y

一型が変得ない出産する、空は公う の職所には荷物船が戦争といよ、一 で変る、神には静かに小舟が过り のであかしてある、海流に行くと中山 で変る、神には静かに小舟が过り で変る、神には静かに小舟が过り で変る、神には静かに小舟が过り が客を呼んである、海流に行くと大 を表情で変る、中正省といよ、一 を表情で変る、中で省といよ、一 を表情である、海流に行くと大 を表情である、海流に行くと大 を表情である、治流に行くと大 を表情である。としい。 を表情である。といる。 の際に行くと大 を表情である。といる。 の客に行くと大 を表情である。 の客に行くと大

地方委員選舉と 陣頭に立つ人々 公 漸く暗中飛躍を開始 主

本年度職権召集兵は十二日午前入 原召本は四十四名中二名の解説あ り四十二名の入際であつた、機能 り四十二名の入際であつた、機能 討伐隊副官 せんとするやうであると

殷實元

東京日本権監顧戸物町東京日本権監顧戸物町

い効果がありますしい効果があります。

| 概を農業公司に襲渡する件は、公一司經營中は駐農の生活を保證し得組合間の水務問職及び獣人の小作 の現金を支続ふ車とし同農場を公組合間の水務問職及び獣人の小作 の現金を支続ふ車とし同農場を公無戦に於ける農業公司禁戦人農民 | 司側より農民組合に金一萬五千圓 鮮農問 農業公司が金を支拂ひ 題は 解決す

炭坑祭 十七日煙臺で

人タクの

般の興を唆つてゐる

明一糸殿れず終始する處父兄來賓 中一糸殿花の骸背會も秋晴れの十五日 小學校の骸背會も秋晴れの十五日 盛大を加へ行く駆は賴母しき穢みの喜び場にあふれて居た。年一年

馬城園

富豪を狙ふ

虫の害、其他党れ性の方 しつ、ひぜん、くさ、とび しつ、がんがさ、しらくも毒 ひ、がんがさ、しらくも毒 定領

瑚~紫檀細工

12

國 光 公 司

(四)

校教授

十五日涼陽へ

あ某本へ事か つはする格けて たず百盗がて

一年日油が乗り、 「大きでは、 「たっな、 「大きでは、 「大きでは、 「大きでは、 「大きでは、 「たっな、 「な、 「たっな、 「たっな、 「たっな、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、

を要し、駐農組合に渡すべき一萬 場に既に數萬金を投資してゐる上 場に既に數萬金を投資してゐる上

秋晴に惠まれた

天

満鐵運動會の

優勝旗は黄組

一名 十九日夜安奉線にて來率 同夜長春二十二日來率二十四日 掘順往復同夜赴連 上下一名 十九日夜安奉線にて來率 同夜長春岡菜生野

ル運動を起

全く解決した 識である

資金の如きも各人持寄り

省城支那側同文中學生徒の上級生

大尾無殿を長馬野の敷帯もだし線へく決意し、青年職職を長馬野の敷帯もだし線で文平氏は近く或る計でとなったは近く或る計でとなった。一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く一路前年の如く 非ざれば常選酬東ないであらう のは本年は相常の得票を集むるに るは本年は相常の得票を集むるに のは、として立候補を電言する者あ のは、として立候補を電言する者あ 施以來前例のない事である上、倫語という。 一名の記述無順として同制度質 である。本の記述を超過する事十一名と

倫ほ續々 こ立候補

秋祭り近づく

無順神は残祭りは九月三十日宥祭 ・十月一日本祭りを例年の如く 撃行するが、當日は仕棋煙火千數 製あり一般發記者には神酒、紅山 関あり一般發記者には神酒、紅山

西

3868 5774 8514 出張所 8935 町支店 4515 支店 9324

中国の世界の大学を主教とせる地野 を関いたのであったであったであったであったでは、一世のであったでは、一世のであるが連載となったのであるが連載生にて地では、一世の世界の野球リーの世界であったでは、一世の世界であったであったであったであるが、中では、一世の世界であるが、中では、一世の世界であるが、中では、一世の世界である。

る代義士連の大名行列としては

用をお貶めしたいのであり べからざるものとして御愛に大く

ると宮川君は土曜館と電監形の野 君は芸説に顕語の陸であると塩 ないと を放いと を放いと を放いと を放いと

五五歩と突越されて居る位は二工角の働きが狭くなつで閉口です五四歩と交換する味に六三銀と上った。飯塚六段日く三七銀は迷ひましたが無理が出來ない處だけに自重したものです。

「大崎八段辞評」」上手二八玉は防禦に過る線ひありて却つて攻撃力を弱くすの惧れあり。直ちに五七銀六三銀なれば五六銀と進み三一角三七銀と引きて四六歩の突出しを狙ひ四筋に壓迫を加へる方玉頭に争ひが生じて變化廣じ。

『然·面以下指方』△六七金▲七四歩△四八銀▲九四歩△一六歩▲一四歩△二八玉▲六三銀△三八金▲三一角△三七銀引▲七六歩▲三十角△三七銀引▲七 ○對局者の感担。 飯塚六段日く六七金は豫定の運びで金をいましたが無理が出来ない處だがに自重した。 飯塚六段日く三七銀は迷五五歩と突越されて居る位は二工角の働きが狭くなつて閉口です五五歩と突越されて居る位は一工角の働きが狭くなつて閉口です。 志澤三段日く敵にひましたが無理が出来ない處だがに自重したものです。

金 シナ 氏紫飯

【月回七勝回六氏塚飯】 窗△ 段六 落香左交香角 歩歩歩歩や

蓮 棋將退敗 騣

皮膚薬多年の

滴で殺菌と化粧の 二重に働らく特色 理想實現

したが、氏の在職書時は監を在書 物の爲め十二日來青し翌朝養膳者 前青長戦吉教尉長李臨氏は聯伍統

古状省城に於ける殿 職計る協議を選げた結果吉城全衛 職所の を開催し國防電影問方法に 動勢國防電機事處を吉城省城に設 で全省より夢襲すること、 を発展し、 のである。 ので。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。

慰問方法

自らの無能に恥ぢて

戶口

L

てるる高階號主相見幸八氏は蓋る 東魏問題が發生してからこの二 ヶ月間は全然商取引は東支の東 東大月間は全然商取引は東支の東 大月間は全然商取引は東支の東 を断も危險區域からは成るべく 東西山麓ので其方を困つてある、経費の 全部打撃を受けてある、一般とうな それに哈爾賓大洋票の崩落は自 をあるが、危險である、、 をあるが、危險である、、 をあるが、 できぬので其方を困つてゐる、 できぬので其方を困つてゐる、 できぬので其方を困つてゐる、 できぬので其方を困つてゐる、 できぬのです。 できるが、 できなが、 できるが、 できるが、 できなが、 で

ある

江雜爼 韓局長 齊副局長は辭仕 吉

の新任で

尿庸 專 器梅 沙皮 阪 西

横銀湍揚廣

原用異音 十一銭 (櫻 印度用具書 十一銭 二号天祐 十五錢 六六鋒、廿五錢 宮內省御用達 香菜鹽精具 鴻 居 堂 (鳩印) (櫻印) あれ 平安 ノ一図 E 五十錢 圓

各種要地に支店を有し活動をし

露支紛爭ご經濟界

本人のルビン市 (本) 本人の (本)

輸入商の損害は 幕張本部へ集合の事(集合時二一、約魚方法、二十二日午前零時二一、約魚方法、二十二日午前零時二、約魚方法、二十二日午前零時二、場所 西海岸

數百萬圓に上る 金福線列車また 三往復に變更す

豊作で出廻期により 八月二十日より正式に開校した吉林大學校の十八年度經常費は初め吉林大學五年五千二百六十元と批上されて居たが、其後各種の費目に就て是非支出の必要ありて財政際の歌可を経て更に四萬三千三百六十元と批な追加され合批九萬八千六次を追加され合批九萬八千六次を 林大學校經費

内地人数 一大地人数 一大地人数 一大川末の調べ 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の調が 一大川末の 一大 一大川末の 一大 一大川末の 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 吉林地方の

御常用トシラ定評アル

MA MARKET

味の素の必要か

使ふべい

祭を 盛大に擧 行すること に決定 ながく成り來る二十九日之が報告

青年團の大會

(可認物便郵種三第)

生活難の巡査の

增給案提出

十三日の市参事

一体薬の害 ・ 大手の所はいいでは、 ・ 大手の所はいいでは、 ・ 大手の所は、 ・ 大手の外に、 ・ 大手の外に、 ・ 大手のの所は、 ・ 大手のの形は、 ・ 大手のの形は、 ・ 大手のの所は、 ・ 大手のの所は、 ・ 大手のの所は、 ・ 大手のの所は、 ・ 大手のの形は、 ・ 大手のののが、 ・ 大手ののが、 ・ 大手のが、 ・ 大手の

今日は仲秋節

身能とど

0 養生法を

お教へ致します

强健制制 回露丸 本潮御携帯を御奬めしま、水瀬御携帯を御奬身用としてん。。貴下の護身用として 堂生資田山 社會藥賣本日 京東連大 舖本 元賣發

4 とうと とという

> どうかは、 るに如かず! すと歴然、 て美味く食べ 只使 言は

宮內省御用達 味の素本舗

鈴木 商

店

黒い大理石の階段の上に、シーバ

の女王の様な美しい若い女の方が無い大見る。

てゐらつしやるのです。

お立ちになったからです。金と

實玉とをもりばめた降誕木を後

たスカートの下から、二つの小さ 歩きになる度に、低珠で縫取をし 十字をきりました。

らでも聞えるやうなその

へ々はおのづとはい心の扉を開いっても聞えるやりなその響きに、

しみんしと確をたれるのです。

郷の音はまだ止みませんの裏間か

日

つき道で落した一きれのパンを

七

+

洲

が白い雪の上に流れ、路上に並ぶ 野の果てに日は落ちにけり つても、そのきれいな瞳をおそむ

暗い館を明るく照らしました。

てゐらつしゃるのです。合嬢がお つてお供の者に朗かなみ驚でから けになるやうなことは無く、かへ 低な魂を持つてゐるのだわ」との おつしやるとの際でした。 「登しい者こそ本當に玉の様な立 の子も思はず萬歳を口走りました 粉雪はまだこやみなく降つてゐま そして皆の一番後にくついきなが しろの方に居た、あの小さな乞食 人々々が顧喜の驚をたてる度にう と待つてゐるのでした。 自分の番の來るのを今かし

けるんでしたがねえし もう一寸早く來で聞くと見て頂 たった今圖畫と書方の用品物を 「信いことをしましたね、質は

なものばかり たれは常士縄、羽二重、狭父縄な の帯模様を見る。 ずいづれも目の気めるやうな解か 記者も思はず讃笑の姿を放つ、先

ものでとれだけのものを作り 見ても五回六回と色を染め分けた 出したものです一々彩でしばった り自ら工夫してこしらへた政概を のてたりして多種多機の面白い質 の模様を築め 五年小松浪子さんの宿場 のボイル女見服などは ね仕立て、桃慶子さ 裁縫の作品には四梅田職 品として決してはづかし んの女見洋服、四極 ん、中村花子さんのベビ 四世条田ハウエ

月 九 四 年

では白いあごひげの露店商人が、 の上を漂つてゆきました。 くばんだ眼を閉ぢてしづかにおい いけたランプのらすりのもと

づしい女は、思はず立ち上って解: 名なさる低齢分譲でした。世間でなれば仁蕊の御心がお厚いので有 事實令職は汚い乞食等を御覧にな は合鑢を女神の様に申しました。

能は余絶えて草のさゆらぐ たをり飛ぶを追ひてゆきけり 朝露にしとなに裾を濡らしつゝは

ちご一つ赤く歌せり かつたからです。 あた令嬢の頭を、忽然一種の冷た。 こん や いっと 御覧になって をあげました。 い微笑が霊の様にかすめました。

合飯はあでやかにお笑ひにな 急に威無高く吹へはじめました。「ました」つかくし、

年教育品展覽會 南滿教育會二十周 出品物のぞ記

澄田校長は記者に椅子をするめな 次は頭生高等女學校の展覽會出品一つてゐるといふ裁縫手聽品を見せ カメラを携へて同校を訪ねると、 彌生高女の部 て貰ふしとにする。

なものが出來で居まて、的合な 続り架めや自ら梁め出した長紙私も昨日やうやく見たのですが らな美しのがありますより どもまつたくふるひつきたいや てもはづかしくないやうな鮮か などは渡速町あたりの店に出し 質に立版なものがありますよ ブタノコ

コブタ

J

小山內春江

オクチデ

慢性腸胃カタルとなり

の時代を読むがあたり食食の結果、酸はがあたり食食

コロゲテ

チチ ナカヨ・

後し下腹痛み透り

ひ、夜

ソンデル

どの生地にいろう

大チャ **ノタンケン** (101) " 11 ル ラ =

ゥ

青春の元氣を養へ

チ

胃腸を强健に

ミエタノデ イソイデ キカラウヘカラ ナツカシイ ウミガ オリマシタッソシテ モリノナ イソギマシタの カイガンへト ヘニ デマシタ。アヲアヲトシッレテ、コダカイ オカノ ウ オホキタ ヒロガツテ ミエマ・大チャン タ ウミヘ スグ メノシタニ カイガンラ ナツカシイ ハ 大チャンガ ナガレッ オモハズ カイガンデシ 清化吸收を完全にし、停機せる飲食物や分泌物を排泄して胃臓内を清 胃腹薬タラコンは、疲勞し、強緩し、衰弱した胃腸の機能を復活して

松上之園安子さん、四松 **吳服店の店に飽つても決してはづ** さんなどはいづれも質に 森脇梅野さん、四竹佐 **能かな模様は窓田校長の話の通りいろ作られてゐるが色とりとしの** から同様の絃染めで長端が 長標性は四松田中周子さん、三櫻のかしくないものである。これらの 立派な 出來である 肺

しては上げた努力の結晶とも見るのである。その他手器品としてはのである。その他手器品としては づれも工夫を凝らして楽 一種平山離子さん、三特古田文さ べき素晴らしく立派なレ ブル掛けを

泣きながら粉墨の中へ消えて行か

乞食の子はしく

犬は肩をいからして呼びました。

にそのけがれた手を切りおとせし を乞ふ前に鏡を見ろ。さし出す前

中期佐子さんの同じくテー 三松志城美惠子さんのケ 四松大曲チェ子さんのピ も効なし、 いかなる滋湿素、滋養食の美味・ の内壁が関っき無れてゐるため気養を更 の内壁が関っき無れてゐるため気養を更

軍手現金卸 千金の滋養物。 場胃病には

山本洋行

はおける。 はおける。 はおける。 はおける。 はおける。 はおける。 はおける。 はおける。 はいでは、 はいでは、

東部四九三 東郷町九三 神郷町九三

近は野店の自慢

意に任せて議取され、荣養は日に加はり、韓重は月に増し、元気観念 と背谷重ねて來る胃腸患者よ、徒に病苦を動する勿れ、名乗タラコン 東京小石川區下富坂町二〇東京小石川區下富坂町二〇 西中县 脚削

は全國の各集店にあり、一たび試みて其間債を知られよ。

骨アトニーの加きは弛緩したその競性を緊縮し胃酸過多、過少はその骨アトニーの加きは弛緩したその競性を緊縮し胃酸過多、過少はその 『陽病を根抵から帰途するのである、見よ胃腸は弦に魅生し美味実食 日下齒科醫院

要收し、習慣瘍は細胞を増殖して潤瘍面を癒着し、胃糖患、胃下寒、大な作用を有し、たとへば胃癌のやうな病気は、その結節を周囲より 製にし、大小灰温を整へ、老服物 の主ななが、地質性を関する。 の主ななが、地質性の活躍を軽へ、老服物 の主ななが、地質性の活躍を乗へ更に を解除して青春の活躍を乗へ更に を解除して青春の活躍を乗へ更に を解除して青春の活躍を乗へ更に 細胞を健全なる細胞に改造する像 1/4 藥服一 の和昭

段十五贯定

心頭亦凉し! 新人に喜ばれる 最新焼香油 芳 香……経雅

心かけませる ての そのとなりで 公家衛生を しなりも しなりも します

●満洲の温泉 場所は熊岳城熊泉温 東京・大阪 平尾愛平臨店 話電

087

利の月ならばる渡る のんだら気が時れる

(六)

話

北風の送葬曲

のですけど、

な靴が覗きました。

「皆さん、つまらない物ばかしな

てゝ下さいまし」分嬢はかつて窓

招待なすつた時と同じ口物でおつ生日の御祝ひに十二人の紳士を御

しやるのです。

は沼にひろがる波紋のやうに、町 然気光の中のマリヤ線のやうに酔の鑢が鳴つてみました。その響き れてあらつしやるそのお方は、宛古めかしい数値の尖塔では鏡た鍵」にして、眩しい花電燈の光に包ま 々しく見えるのです

と風船みたいに肥えた市場事官のの牧師さんはから申します。する つ明日私は早速議員を集めて、今の

機に惨酷でした。乞食の子はおび その犬は狼の黴に怖しく、蟷螂の

ました「僕は何も悪い事はしやし

へた眼を見はつて震へながら申し

且漢藥專門

ないったよ御惠みをお受けしよう

としたいけなのだよし

を しい人達は金藤の此の丁寧なやさ しい言葉にも、牧師さんや市参事 れは丁度花から花へ飛嘘る胡蝶の れは丁度花から花へ飛嘘る胡蝶の なだけでそれ以上の何物でもな 限を輝かしながらその据じみた酢 お酵儀をし、縄い雨手をさし伸べ

ら赤いジャケットや、エカメルをでもやがて今難はその大きな離か 人々にお興へになり を、 なりました。すると今迄俊談会ない、 ないになりました。すると今迄俊談会ない ないので、 とのでは、 はいいいので、 はいいので、 はいいのではいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいのではいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいので、 はいいので、 よ」合嬢はから御言ひになると、 「お氣の毒だがもら有りません

背をおむけになり、軽ろ

「醜い奴め!お前の館は悪の機だ

毛皮の手袋等を出して可愛さらな そこで始めて皆は感謝の呼びを撃

会譲のお手づからいただいた立派 な品を高くさし上げて、その一

物を見やうの

を

でもありません。

でもありません。

ご食の子は冷臓

のあの美しい手から何か素的な物 から

あるのです。

小走りに分離の前に進んで丁寧にいよく、後の番です。公食の子は 夢中になって

で先づ取散で係の先生の手許に集と如何にも残念さらに言ふっそこ

來ない中から記者の好奇心をそと を移すと、随田校長の話夢に墜はつて次々と運ばれて來る作品に眼 と遺田校長はまだ品物が運ばれて かける。その中に係の先生方によ るやうな言葉を矢つぎ早に浴びせ

本舗 東京 津 村 敬 天 堂 (徳川)一関 三圏 六圏 ヘルプで武装せよ!

説明)上は被梁

じがする。それらの作品の

は大浦運動場準備グラウンドに城で大勢中國隆華賦球艦の蹴球

京城帝大との蹴球戦

・軍敗る

に繋列し扇軍主緒は握手を交し、に、関いされたが、、一般に対しったが、、一般的扇では、大のキックオフにて開始されたが、、一般的扇で中央になり、域大のキックオフトで、一般ですが、一般では、一般では、一般では、

ルキーバーの豫備に乗じてオールキーバーの後双方守備堅く、混職となって、1フタイムに至る、得點となって、1フタイムに至る、得點となって、1フタイムに至る、得點となって、1フタイムに至る、得點となって、1フタイムに至る、得點

走者無し

一分三三秒八、二等松一

三等木村

一等越智四○秒、二等杉山、三 文子五十米第一回自由型 文子五十米第一回自由型 为子五十米自由型

殿球理田、村上、漁戦光攻納合經、勝つ、勝戦五時十五分球器田村、勝つ、勝戦五時十五分球器田村、勝の、勝戦五時十五分球器田村、勝の、勝戦五時十五分球器田村、

順軍勝

囘

六對二で旅順軍に

小田一分十秒四、二等唐泽小田一分十秒四、二等唐泽 攻戦十二

E 樂成同為養體成為青年聖 版馬無王郭張李王羅 KW LHH LF KW LF 審笛 デション悪く、加 全滿都市對抗野球大會

水泳記錄大會成绩

べのブ

の監視を五回越前屋が秋吉の安打 ・ の監れとなったが、同歌に四回横 道(しかも足の悪い)の三戯無暴 ・ のを観点を変わる。 ・ のを記しからと四平街 ・ のを記しからと四平街 ・ のを記しからと四平街 ・ のを記しからと四平街

授與され午後五時三十分

神宮競技大會に出場する女子選手

記錄を作

3

(可認物便郵強三額)

ト黒球に手を出ししかも打象に出 ながら球口のミートが足らず思は ながら球口のミートが足らず思は をでして打つて出た時森川がバントを 世ずして打つて出た事もゲームを

里兄の快打へ四安と が光つて

作決勝戦で 四平街敗退 滿倶頻りに投手を代へる

八人当二のスコア 九百米一着近畿(濱松師範)四 決勝の部 九(大會及中等學校新上十六秒三、大會新記) 十六秒三、大會新記 米高障碍准決勝吉岡(鳥根

スケヂュール決定す

試合の

勝族授與ならびに各種目優勝校に四十六點を得た衛玉師邸に繋し優 四十六點を得た衛玉師邸に繋し優 最後に午後五時二十分より練得監

△走巾跳一等杉田(清見潟商業)六米七七

第四回 「紫順三者飛球に了り本族順二死後手田右中間安打した 旅順二死後手田右中間安打した 旅順二死後手田右中間安打した 旅順二死後手田右中間安打した が有川弟遊飛 一死後今里兄左翼 「大で三進し本 が有川兄左翼に二齢打 上池江遊館 失で三進したが千 山三帽 大で三進したが千 大田三帽 大で三進したが千 大田三帽 大で三進したが千

(推決除) 大連等俱對全四至有戰

(報投一等吉澤(埼玉師範)三十秒(大會新記錄) 一着吉岡(鳥根師範)十一秒十六秒四十六秒四

大きなのかります。 大きなる)大井二龍して秋吉生濃積道三弦に倒れ多田一振したなる)大井二龍して秋吉生濃積道三弦に倒れ多田一振したなる。 大きったが秋吉の一大井二龍して秋吉生濃積道三弦に突し(小松に代る)四平街三郎。入れて同點へ 大きったが秋吉の一大村一龍したなる)四平街一系に突し、小松に代る)四球砂藤中飛失で島田、北村 大きったが秋吉の一二間、北村 大きったが秋吉の一二間、北村 大きったが秋吉の一二間、北村 大きったが秋吉の一二間、北村 大きったが秋吉の一二間、北村 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったで三郎と一郎は絶知を上まる。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが秋吉の一二間。 大きったが、大きったで、一路は、大きった。

▲十一月三日 選手欄大會二部決勝(午後以上大連運動場) 寒(午前十一時半)決勝(三時半) 南二十七日 同決除職二十日の同二十七日 同決除職二十日の 一時)工大對大俱(午後二

カレッデ(奉

出場希望者は至急御申出で下さい

九月二十二日午前八時開始

. . .

奉天益濟寮コー

込む事、二十一日午後七時奉天支計

山場選手の氏名を記し申込金五

派え二十日までに満州日報奉天支社

各地方を代表する正選手三組補缺一組

來る九月二十二日を期し左記に依り全滿庭球大會を舉行します

全滿軟式庭球大會

4. 桂山一、

事局の召喚を見ん 朝鮮總督 を一新し組織を固めて本年度の新五日午後役員會を開催の結果陣容 おおり ルを確定した(但し州外のみ し併せて試合のスケデ 本年度の役員も選任

総督の召喚も見るであらうと 総督の召喚も見るであらうと ▲同十三日 滿繳對大俱(午後三 時本天)育成對工專(午後三 時大連運動場) 專) 上面對大供(午後三時工 於順)大商對大供(午後三時工 上面)

. . のステラ

山、イチデク 「 イチデク 密 桃 尾 一^{集級甲查審較比省林農} 養鷄飼料粉機特

取れなかつた畑より六石の大増収。 なかつた水田より十俵ご云ふ二倍 なかつた水田より十俵ご云ふ二倍 が収を撃げた者・勢性で三石より がれなかつた畑より六石の大増収。 金肥を牛減し或は使はずに らしい福音 が繋げた者。其他に確定で十割以 で繋げた者。其他に確定で十割以 を繋げた者。其他に確定で十割以 戦をも得らると事は、管に世界へ 農村不改の今日、全肥を節約した の一大部でではあるまい

を無料配布する筈である。 を無料配布する筈である。 使の残力あれば何人にも入會を許す。 実際では、成可様状のの関注五百餘権を教授す、成可様状のの関注五百餘権を教授す、成可様状のの関注五百餘権を教授す、成可様状のとは、小塚校の残力あれば何人にも入會を許す。 実際にして農林省指定の残力あれば何人にも入會を許す。 東京市日本橋高雄研堀町二五 製造・化學・通信・學・技術の大小を論述す化しました。 ●イジ頭痛にフ 上事の御用命は

周野一色電氣治療機御入用の方には御取**天** 高野一色電氣治療機御入用の方には御取**天** 野一色紫原電気質験

ウオターマン萬年筆 アメリカントランプ Waterman's Ideal Fountain Pen 大連市大山通り京都門角 滿書堂文具人 電話四九九四-四三〇六番 展費會を開催致します。 **敷鳥町青年會館**

のて低廉であります

對帝大二囘戰 咽 曹 醫一四 五部電

日頭電』六大學リ

8 宅 東獨 本 8 6 東京風菓子謹製 と云ひお體験と云ひ天下 0 75 る産 お 茶んのざ TE Ġ

野投にもよるが四平街は秋吉へ安で彼を評するは底だ▲満県投手ので彼を評するは底だ▲満県投手の て得意のカー 左翼からの風は可なりに强く左翼 まつたが今少し悩涯に選球してほ打二ボン以外は全然牛耳られてし に打つた打者には幸ひをしたからに打った打者は不幸だったが右翼 る事が無かったならばもつと追っ て得意のカーブも用ゐる時なく早りに立つた小松は今日の風を利し 平街が短く打つて軽く當てやうと開電共にこれは帳僧▲此の風と四

界各國酒類

食

和

00

太利藝術品展覽會

伊太利大理石彫刻を伊太利ブロレンスより順富に冷

代定で手二安投る田疋の盗打手

所職は午後零時十八分

全國中等校の

見上山口

て明日の決酸に備えた

陸上競技會盛況

好晴に惠まれた二日目

埼玉師範終に優勝

一 (点) 南郷判のトに結大先攻に開 に 数一で早大再勝し閉殿同二時十五 が早大は四回に七数を得て結局と サース・メッテリー早大松木、多勢、 中外、 選政田村、 若べ、田坂 早大 001三四五六七八九 計 (株大 001元 001元 1) 1

第、弦に懸沃薬さ云ふ段家にさつ 農家の肥料問題に就て八巻敷い近 あらゆる農作物の増收が出來る

大連市監部道一〇九番地

二十世紀の 梨、岡山産

内地西瓜、

多少に不拘御用命願升 瓜、 西廣場出口 町 条悠紀主基寶田御採納之榮 特約店

皆 0 履物三雨

傘は 浪速町大連商品 山 右入口)

話六三一八番 物店へ

三省

看 話五〇三番 行

電話南二五八

ばんの形式だけの、名ばかりの結ら はんの形式だけの、名ばかりの結 はんの形式だけの、名ばかりのはかつてるでくれるだらうと思ふっ と、語調を強めて云ふっそんな

かられったが、草野君なんかと交かられったが、草野君なんかや変子なん

出らせるもんだやあな

・そんな無理を云つて、僕を

て、わたしは身分の低い女事務員 要語のやうに囁いた

違ってあるのだったが、ちょうな

新和紹介

:あなたは社長の御会

谷町五十二番地。同人社家(九月號) 東京小石川 朝鮮總督府 (定

あればこそ

月も名月

めなら

あがれ

0

む

かず

早い

かっ

す

くなほる

り酸で云つ

ろこびには、わたしの命を差上げっわたし、あなたの御結婚のおよ

四二四人婦人の友社の方式

うまい銘酒

大連市三河町十八

産岩 完醫男岩室案診科保

クッ 番角 の色 根 本舖吉田久四郎商店 科 3 19 1

泌尿器 生殖器障碍 性病機器

商颅器療醫 订資合 回了一**四**基语 電話五六五三世

大阪商船

英幅は飲みさしの都部温をぐいと乾すと、ソファから起ち上つてと乾すと、ソファから起ち上つて

でまる。 できまれば、 有無を云はせ

英献は際しく美知子の館や駅に さんしそんなに僕を想つてゐるの 御綿婚が爆茶々々になると関有る してくれると……」 聞が脅もなく発開けられて、と 彼女は肚の底から笑ひつらけたo 美知子は美を爆災させた。はツ

、つかくと部屋のなかへはいと、彼は路々しげに呼びかける

るべからず

獨逸

ルの味こそは

眼を覆ふて物は見

何でも御利用下さい で勢可能調明角報立五五四 一番可能調明角報立五五四 御旅行の事は

A CHO UNIO 秦澤友吉商店 秦澤友吉商店

食傷による下痢と腹痛に

所謂お腹の掃除に

を連に吸着排

関が数

日本郵

B31

鹽